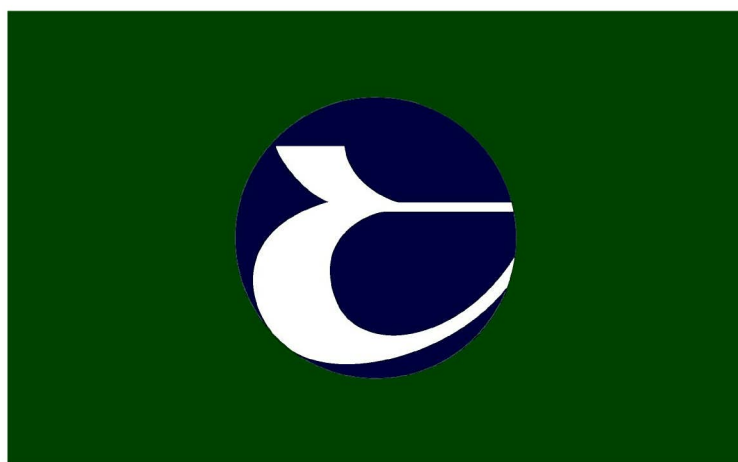


令和5年度

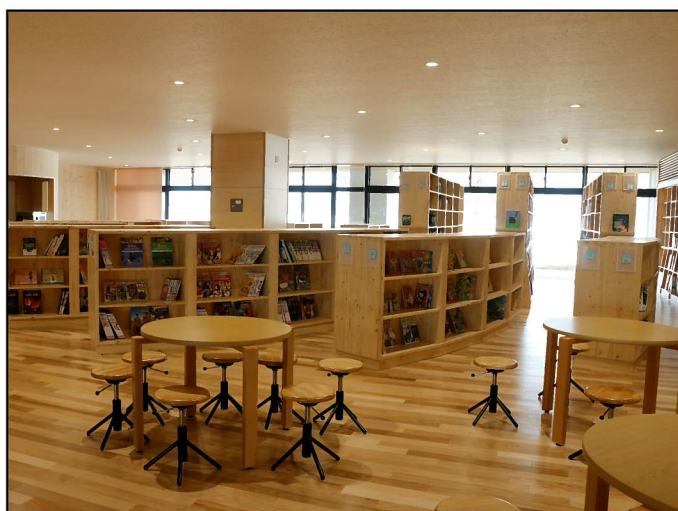
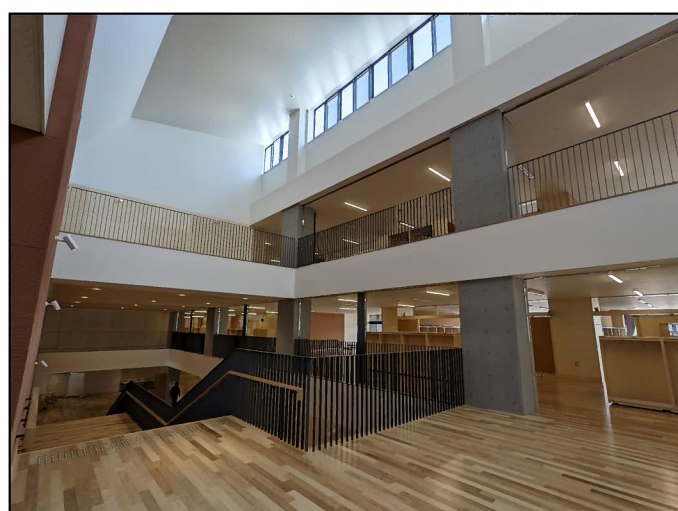
当別町の教育



当別町教育委員会



とようぐつ学園



※学校概況は12ページ

西当別小学校



※学校概況は14ページ

西当別中学校



※学校概況は16ページ

社会教育施設



※施設の詳細は25ページ



「未来を拓く9年間」当別町小中一貫教育

令和5年度 重点目標 「授業改革055」 学力向上と学びの保障

	学力向上	学校と地域による連携	子育て支援
重点課題	学び意欲を引き出す主体的・対話的で深い学びの授業改革	いじめ防止・不登校等の多様化する児童生徒指導対応	幼保小の円滑な接続と関係機関との連携
課題へのアプローチ	・課題探求型授業への転換 ・個別最適、協働的な学び（習熟度に合わせた対応） ・ICTの利活用 ・学びの基盤固め	・専門的知見の活用と対応 ・困り感のある児童生徒、家庭への支援	・幼保小接続プログラムの確実な推進 ・要支援児童の家庭支援 ・幼児教育・保育施設の充実
学 校	・授業改革の実践 ・タブレットの日常活用 ・AIドリルやICT機器の利活用 ・地域資源を生かした「とうべつ未来学」の推進 ・家庭学習の拡充	・困り感に寄り添った児童生徒、家庭との連携協力 ・チームによる組織対応 ・登校渋りの早期発見と対応 ・SSW、SCの活用	・外部人材を活用した体験活動 ・「とうべつ未来学」での人材活用 ・CSの積極的な活用と参画 ・読書活動の推進 ・学びのハンドブックの保護者周知
委員会 ★：新規事業	★ICT支援員巡回指導 ★AIドリル等の導入 ★とうべつ未来学コワーキングスペースの配置 ★キャリアノートへのデジタル化へ向けた研修 ★教職員の資質向上に向けた研修	★校内適応指導教室の検討 ★学校へSSW、SCの巡回支援 ・登校渋りのある児童生徒への早期対応 ・適応指導教室の適切な接続 ・大学との連携による人材確保	★待機児童発生抑制（加配保育士の配置）（園舎整備における支援） ・幼保小による研修開催 ・認定こども園と学校、保護者との情報共有 ・児童虐待防止や発生時における関係機関との調整

特色ある取り組み

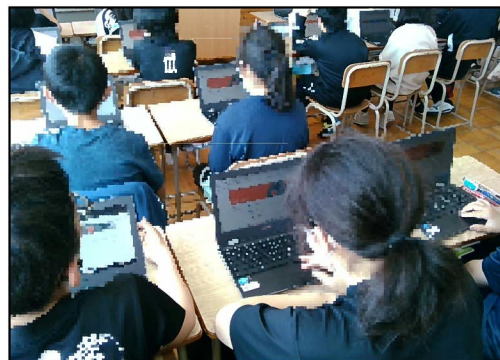


未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

「学力向上」と「学びの保障」に向けて

ICTの活用



全児童生徒にChromebookを配布し、端末の機能を活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践を重ねています。令和5年度にはA Iドリルや電子黒板を整備する予定です。

特色ある授業

取組	実施状況
教科担任制 (小学校)	①中学校教諭による小学校での授業（乗入授業） 【理科・音楽・体育・英語】 ②担任の交換授業 【国語・算数・体育・音楽・ 道徳・理科・家庭科】 ③加配等の活用 【理科・英語・体育】
少人数・ 習熟度別授業	算数（数学）・理科・英語
英語教育	小学校1・2年生で外国語活動実施（年10時間） 特別支援学級での英語授業（年12時間）



【小学校での英語授業】
学級担任の他、英会話指導助手（ALT）、学力向上推進講師、特別支援教育支援員も授業に参加しています。

町独自の人材配置

職名	人数	業務内容
スクールソーシャルワーカー	1名	課題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ等
スクールカウンセラー	2名	児童生徒及び保護者に対するカウンセリング等
特別支援教育支援員	8名	普通学級に在籍する困り感がある児童生徒への支援等
特別支援学級介助員	2名	特別支援学級児童の身辺介助、安全確保等
特別支援学級看護師	1名	医療的ケアが必要な児童への支援
学力向上推進講師	4名	児童生徒への教科指導及び補助 （外国語2名、算数・数学2名）
英会話指導助手（ALT）	2名	外国語授業の補助
適応指導教室指導員	2名	適応指導教室における不登校児童生徒の学習指導、 学校復帰支援等

教職員研修

取組（R4）	実施状況（R4）
夏季研修会	令和4年7月28～29日開催 （オンライン開催） テーマ：特別支援教育、オンライン授業、授業改善
冬季研修会	令和4年12月27日開催 （オンライン開催） テーマ：インクルーシブ教育、ICT活用、生徒指導
その他	学習eポータル導入研修 （令和5年2月9日開催）



冬季研修会（役場よりオンライン配信）

特色ある取り組み



未来を拓く9年間

当別町小中一貫教育

独自教科「とうべつ未来学」

町独自で実施している教科等横断的な学習です。生活科、総合的な学習、外国語、社会などの時間で実施しています。ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、国際感覚を身に付け、自分の人生をデザインする力や様々な方法で発信する力を育てることを目指しています。



↑詳しくはこちらから！

3本の柱



学習の様子



学びのハンドブック

教科ごとの目標、身に着けたい力、ICTを活用した家庭学習、年間の学習課程についてまとめたハンドブックです。令和4年度から、全保護者へ配布しています。このハンドブックを通じて、保護者が学校での学習内容や計画を知ることができ、家庭学習をサポートする際の手引書としての活用することが可能となっています。



↑詳しくはこちらから！



年間の学習課程(前期)							社会科	国語	算数	理科	道徳
学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月					
3年	1. わが国の自然と文化 2. 国土の発展と文化 3. 国土の発展と文化	4. 国土の発展と文化 5. 国土の発展と文化	6. 国土の発展と文化 7. 国土の発展と文化	8. 国土の発展と文化 9. 国土の発展と文化	10. 国土の発展と文化 11. 国土の発展と文化	12. 国土の発展と文化 13. 国土の発展と文化	14. 国土の発展と文化 15. 国土の発展と文化				
4年	1. わが国の自然と文化 2. 国土の発展と文化 3. 国土の発展と文化	4. 国土の発展と文化 5. 国土の発展と文化	6. 国土の発展と文化 7. 国土の発展と文化	8. 国土の発展と文化 9. 国土の発展と文化	10. 国土の発展と文化 11. 国土の発展と文化	12. 国土の発展と文化 13. 国土の発展と文化	14. 国土の発展と文化 15. 国土の発展と文化				
5年	1. わが国の自然と文化 2. 国土の発展と文化 3. 国土の発展と文化	4. 国土の発展と文化 5. 国土の発展と文化	6. 国土の発展と文化 7. 国土の発展と文化	8. 国土の発展と文化 9. 国土の発展と文化	10. 国土の発展と文化 11. 国土の発展と文化	12. 国土の発展と文化 13. 国土の発展と文化	14. 国土の発展と文化 15. 国土の発展と文化				
6年	1. わが国の自然と文化 2. 国土の発展と文化 3. 国土の発展と文化	4. 国土の発展と文化 5. 国土の発展と文化	6. 国土の発展と文化 7. 国土の発展と文化	8. 国土の発展と文化 9. 国土の発展と文化	10. 国土の発展と文化 11. 国土の発展と文化	12. 国土の発展と文化 13. 国土の発展と文化	14. 国土の発展と文化 15. 国土の発展と文化				
7年	地理的分野 (中国東部・中部)	歴史的分野 1. 世界の歴史 2. 世界の歴史	歴史的分野 3. 世界の歴史 4. 世界の歴史	歴史的分野 5. 世界の歴史 6. 世界の歴史	歴史的分野 7. 世界の歴史 8. 世界の歴史	歴史的分野 9. 世界の歴史 10. 世界の歴史	歴史的分野 11. 世界の歴史 12. 世界の歴史				
8年	地理的分野 (中国西部・南部)	歴史的分野 1. 世界の歴史 2. 世界の歴史	歴史的分野 3. 世界の歴史 4. 世界の歴史	歴史的分野 5. 世界の歴史 6. 世界の歴史	歴史的分野 7. 世界の歴史 8. 世界の歴史	歴史的分野 9. 世界の歴史 10. 世界の歴史	歴史的分野 11. 世界の歴史 12. 世界の歴史				
9年	地理的分野 (中国北部・東部)	歴史的分野 1. 世界の歴史 2. 世界の歴史	歴史的分野 3. 世界の歴史 4. 世界の歴史	歴史的分野 5. 世界の歴史 6. 世界の歴史	歴史的分野 7. 世界の歴史 8. 世界の歴史	歴史的分野 9. 世界の歴史 10. 世界の歴史	歴史的分野 11. 世界の歴史 12. 世界の歴史				



家庭学習の進め方についてまとめた冊子を公開しています。

令和5年度の教育 目次

【 巻頭 】

- 1 町立学校
- 2 社会教育施設
- 3 教育推進計画
- 4 特色ある教育

【 教育大綱・小中一貫教育 】

- 1 教育大綱 1
- 2 小中一貫教育 3

【 教 育 計 画 ・ 予 算 】

- 1 学力向上プラン 5
- 2 体力向上プラン 6
- 3 コミュニティ・スクール(CS) 7
- 4 教育予算 8

【 学 校 教 育 】

- 1 重点目標 11
- 2 現況
 - (1) 学級数及び児童生徒・教職員数 11
 - (2) 学校概況
 - ① とうべつ学園 12
 - ② 西当別小学校 14
 - ③ 西当別中学校 16
- 3 学校給食 18
- 4 保護者支援制度
 - (1) 就学援助 19
 - (2) 特別支援教育就学奨励費 20
 - (3) 特別支援学級等通学援助費 20

【 社 会 教 育 】

- 1 重点目標 21
- 2 事業

- (1) 生涯学習推進事業 21
- (2) 読書活動推進事業 22
- (3) 生涯スポーツ推進事業 23
- 3 学校教育との連携事業 24
- 4 社会教育施設
 - (1) コミュニティーセンター・文化施設等 25
 - (2) 体育施設 26

【 子育て・幼児教育 】

- 1 重点目標 27
- 2 事業
 - (1) 特別保育事業 27
 - (2) 子ども発達支援センター事業 ... 28
 - (3) 学童保育事業 29
 - (4) 子育て支援事業 29
- 3 子育て・幼児教育施設 31
- 4 保護者支援制度
 - (1) 就園援助事業助成費 31
 - (2) 教育・保育施設等助成費 31

【 教育委員会 】

- 1 教育委員会
 - (1) 教育長及び教育委員 33
 - (2) 令和5年度活動予定 34

【 資 料 】

- 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務 35
- 2 教育委員会事務局 職員一覧 36
- 3 教育委員会の附属機関等 37
 - (1) 当別町教育支援委員会
 - (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織
 - (3) 当別町いじめ問題調査委員会
 - (4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師
 - (5) 当別町学校給食センター運営委員会

(6) 当別町学校運営協議会	
(7) 当別町文化財調査審議会	
(8) 当別町社会教育委員会	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員	
(11) 当別町少年指導センター	
(12) 当別町子ども・子育て会議	
(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	43
(1) 当別町文化協会 加盟団体	
(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体	
5 指定文化財一覧	45
6 教育の沿革	46
7 統計データ	52
(1) 小中学校施設の概況	
(2) 児童生徒数の推移	
(3) 各学校統合年の一覧	
(4) 就学援助の状況	
(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
(7) 社会教育施設利用状況	
(8) 子ども発達支援センター利用状況	
(9) 教育・保育施設等助成費	

※本冊子における用語は、次のとおりとする。

小学校・・・義務教育学校の前期課程（１～６年生）を含む。

中学校・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）を含む。

小学生・・・義務教育学校の前期課程（１～６年生）に通う児童を含む。

中学生・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）に通う生徒を含む。

中学１～３年生・・・義務教育学校の後期課程（７～９年生）を含む。

教 育 大 綱

小 中 一 貫 教 育

1	教 育 大 綱	P 1
2	小 中 一 貫 教 育	P 3

➤ 1 教育大綱

【期 間】

原則として、令和2年4月から令和7年3月までの5年間とする。なお、この期間内において大綱を見直す必要が生じた場合は、総合教育会議において協議する。

【関連計画】

当別町第6次総合計画（令和2年4月から概ね10年間）



教育大綱（令和2年4月から令和7年3月まで）



当別町教育基本計画（令和2年4月から令和7年3月まで）



各年度の推進計画

【基本理念】

1 目指す人間像「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人」の育成

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせ、それらをもとに思考力、判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り拓いていける力をつける教育を実践する。

2 幸せを実感できる生涯学習社会の実現

すべての町民が「住んでよかった町 当別」を実感できるよう、学習・文化活動・スポーツに親しむことのできる環境づくりを行う。

【基本方針】

学校教育

義務教育学校及び併設型を基軸とした9年間の切れ目のない一貫教育を実践する。それにより徹底した基礎学力の定着、自らの夢や目標を自らの手で切り拓いていける力、世界で活躍するためのツールとしての英語力、強い心と体など、世界に通用する人となるための確固たる基礎を作る。

また、その学びは「連続性のある多様な学び」であり、特別な支援を要する子どもたちも共に成長する教育である。

1 確かな学力

主体的・対話的で深い学びにより、将来の夢や希望を実現するために必要な学力を育成する。

2 豊かな人間性（心）

自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切にする心を、全教育活動を通じて育成する。

3 健全な心身

自分を支える基本である健全な身体を、全教育活動を通じて育成する。

4 地域と共にある学校

地域の人材を教育に取り込みながら、地域の活性化につながる教育活動を実践する。

5 教育環境の整備

義務教育学校設立をはじめ、ICTなど教育環境の整備を図る。

子ども未来

子どもの健やかな成長のため、保護者や地域と一体となった施策を行う。また、幼児教育と義務教育の接続の充実を図り一貫教育につなげる。

1 子育て支援

子育て世代の交流促進など、子育てしやすい環境の充実を図る。

2 子どもの安全・安心な環境づくり

放課後児童健全育成事業の活動内容や保育サービスの多様化を図る。

3 認定こども園との連携

教育課程編成・実施への助言や支援を図る。

4 幼児教育と小学校との接続

就学に向けた接続プログラムの充実を図る。

5 子ども発達支援センター機能

多様なニーズに対応した支援プログラムの充実を図る。

社会教育

子どもたちをはじめ、すべての町民が幸せを感じることでできる生涯学習を実践する。また、入植以来 150 年の中で培ってきた当別町の文化や歴史を通じて、ふるさとを愛する心を育む。

1 魅力ある学習プログラム

ライフステージに応じた新たなプログラムを開発する。

2 文化・芸術・スポーツ

超少子・高齢化社会に対応した文化・芸術・スポーツを展開する。

3 歴史・文化財産の保存と活用

当別開拓の歴史を後世に伝え、新しい時代に生かす活動を展開する。

4 児童・生徒・家庭に対する支援

地域の教育力を活用した学習支援や多様な体験活動の充実を図る。

5 図書館機能の向上

読書活動活性化のための多様なサービスを実践する。

➤ 2 小中一貫教育

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」（平成 27 年 3 月制定）

小 中 一 貫 教 育 の 目 的

- 「発達段階を考慮し、義務教育 9 年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育 9 年間で児童生徒を育てる」という考えのもと、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの 9 年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小 中 一 貫 教 育 で め ざ す 方 向 性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

- 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- 健全な心身 ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- コミュニケーション能力 ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- プレゼンテーション能力 ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- 当別が好きな子ども

めざす学校像

- 上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- 地域や保護者の思いが生かされ、共に歩める学校
- 魅力が体感できる教育環境のもと、先進的な取組を進める学校

めざす地域像

- 学校がまちづくりの核である地域
- 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

平成 29 年度～
町内すべての学校で「併設型」小中一貫教育を開始

令和 3 年 4 月
当別町一貫教育推進委員会設置

令和 4 年度
一体型義務教育学校「とうべつ学園」開校（当別小学校及び当別中学校統合）

教育計画・予算

1	学力向上プラン	P 5
2	体力向上プラン	P 6
3	コミュニティ・スクール（C S）	P 7
4	教育予算	P 8

当別町学力向上プラン (R4.9月~R5.8月)

【基本理念】社会を背負う、世界にも通用する『確かな学力・豊かな心・健やかな体』を備えた人の育成

【指 標】令和5年度全国学力・学習状況調査で、正答率が全国平均を10ポイント上回ることを目指し、管内上位の学力を維持する。

【方 針】 1. 授業改善（課題探求型授業）の積極的な推進
2. 学級経営・学習規律等の生徒指導の強化
3. 全教職員の協働による学力の推進

【具体的な方策】

《学 校》

データ分析に基づく学校改善プランの作成と実行

【改善プラン作成の視点】

- ・授業改善（課題探求型授業）
- ・教職員の協働による学習指導、生徒指導
- ・「学びのハンドブック」の活用
- ・9年間の学びの連続性

《教育委員会》

授業改善への支援

- ・加配教諭、時間講師、学習支援員等の配置
- ・学力向上推進講師の配置
- ・ICT機器の活用推進（MEXCBT、学習eポータル他）
- ・地域の教育力の活用

教職員の資質向上への支援

- ・指導主事による指導助言
- ・教職員研修の充実

授業外の学習支援

- ・放課後及び土曜学習会の充実
- ・長期休業中の学習支援
- ・読書環境の整備・充実

学力向上

【今後のスケジュール】

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
← 改善プランの実践・見直し →							調査 実施			評価と 分析	改善プラン 策定

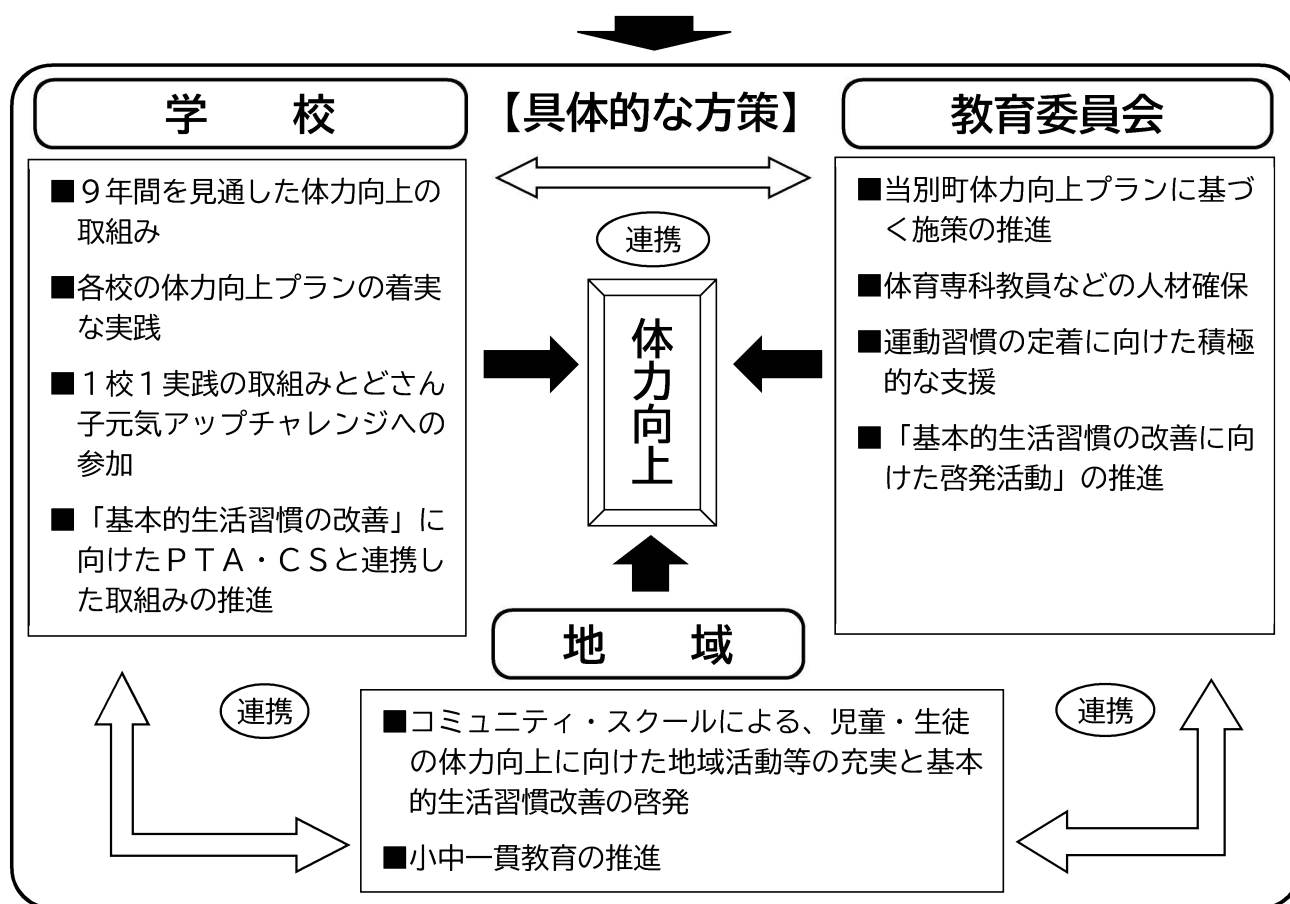
令和5年度

当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均をめざす

【課題】

- 令和4年度の体力合計点が中学校女子を除き、全国を下回っている。小学生は、柔軟性、持久力や疾走能力の得点が低く、中学生では、柔軟性、敏捷性や瞬発力の得点が低い。バランスの取れた体力の向上をより一層取り組むことが大切である。
- 家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を5時間以上見ている割合が、小・中学校の女子で全国平均を上回っていることから、基本的生活習慣の改善が課題である。



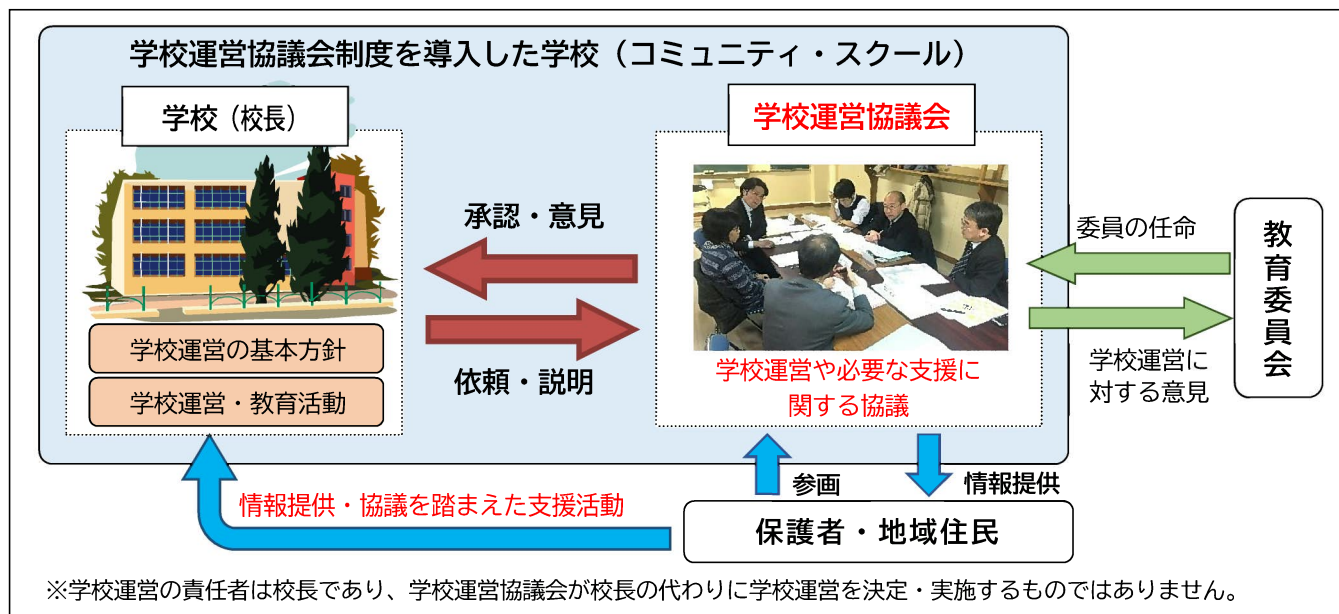
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し		準備	体力調査実施								結果分析・評価
			体力向上プランの着実な実践									
教委	体力向上プラン作成		学校への支援 PTA・CSとの連携									結果分析・評価

➤ 3 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校＝学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育9年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育9年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成29年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。
基本的な活動として、以下の3点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

基本的な活動

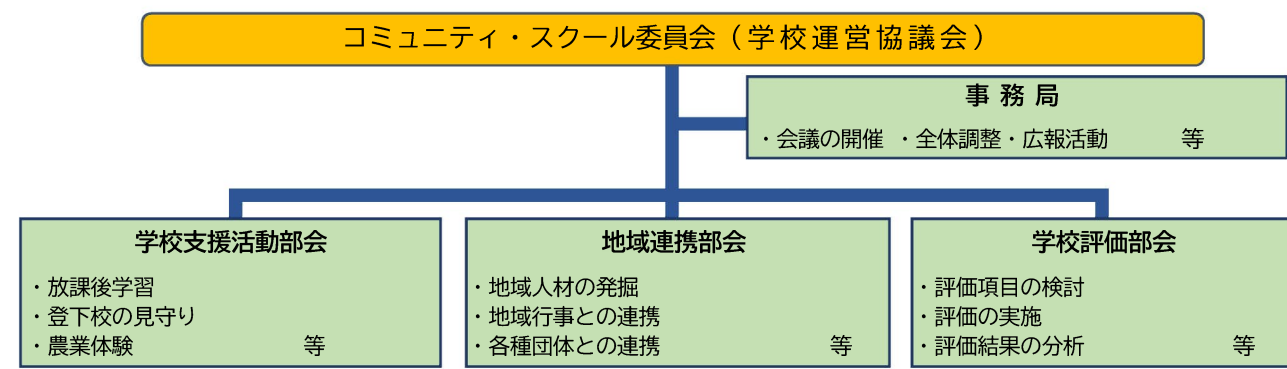
- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【委員数】令和5年5月1日現在

当別地区 11名

西当別地区 22名

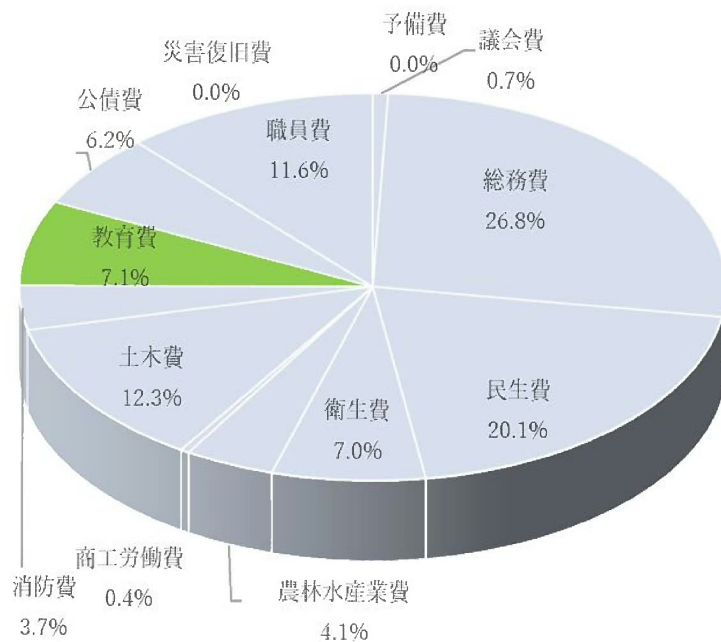
【コミュニティ・スクール組織図】



➤ 4 教育予算

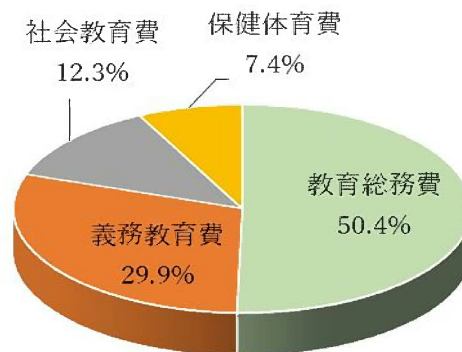
(1) 令和5年度 一般会計当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（％）
議会費	85,381	0.7
総務費	3,593,859	26.8
民生費	2,698,966	20.1
衛生費	933,360	7.0
農林水産業費	549,515	4.1
商工労働費	50,257	0.4
土木費	1,645,398	12.3
消防費	497,900	3.7
教育費	955,657	7.1
災害復旧費	5	0.0
公債費	829,044	6.2
職員費	1,559,879	11.6
予備費	5,000	0.0
歳出合計	13,404,221	100.0



(2) 令和5年度 教育費当初予算額

区分	金額（千円）	構成比（％）
教育総務費	482,025	50.4
義務教育費	285,260	29.9
社会教育費	117,504	12.3
保健体育費	70,868	7.4
総額	955,657	100.0



(参考)

民生費当初予算額（子ども未来課所管分）

区分	金額（千円）
児童福祉費	916,058

(3) 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
令和 元年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9
令和 2年度	12,148,438	17.5	1,340,830	162.0	11.0
令和 3年度	15,070,094	24.0	2,918,145	117.6	19.4
令和 4年度	13,567,556	▲10.0	1,512,424	▲48.2	11.1
令和 5年度	13,404,221	▲1.2	955,657	▲36.8	7.1

※各年度当初予算額

(4) 主な事業

【学校教育課所管】

食育推進事業（新規）（1,699 千円）

給食を生きた食育の教材とし、四季と旬の食べ物の結び付き、地域や姉妹都市の伝統的食文化を織り交ぜ、子ども達が食と共に学べるよう推進を図る。

当別町一体型義務教育学校建設工事（継続）（224,194 千円）

1年生から9年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するため、とうべつ学園のグラウンド整備を行う。

デジタル教育推進事業（新規）（17,625 千円）

新しいデジタル社会に対応できる人材を育成するため、「A Iドリル」を始めとした、デジタルツールの活用を進めることで、児童生徒の理解を深める授業を実施し、学力・学習意欲の向上を図るとともに、「プログラミング教育」や「デジタルリテラシー」等を学ぶ場面を創出する。

地域部活動支援事業（新規）（500 千円）

少子化により部活動の維持が難しくなっていることから、一部の部活では「拠点校方式・合同部活動」をしている。当該方式による部活動下では学校の移動を伴うため、その移動に際して発生する経費負担の支援を図る。

とうべつ未来学推進事業（新規）（335 千円）

社会で活躍する人材を育成することを目的として、各町立学校で実施している独自教科「とうべつ未来学」について、町にゆかりある人物によるキャリア教育を目的とした講演授業に係る経費等を計上し、その実施を支援する。

【社会教育課所管】

プログラミング教室事業（新規）（3,237 千円）

子ども達を対象としたプログラミング教室を実施し、デジタル知識や技術の向上を図り、加速するSociety5.0社会を牽引する人材育成を目指す。

西当別コミュニティーセンター改修工事（新規）（50,000 千円）

安心安全に利用できる公共施設維持管理のため、老朽化した西当別コミュニティーセンターの配管設備改修を実施する。

【子ども未来課所管】

認定こども園おとぎのくに施設整備事業(新規) (431,090 千円)

太美地区における子育て世帯の増加及び保育ニーズの高まりに対応するため、認可定員の増員を目的とした園舎建替費用の一部を民間運営法人へ補助することで、待機児童の発生を抑制する。

保育体制充実事業(継続) (12,960 千円)

国の基準を超えて配置している保育士等の補助対象人員を、従来の1人から3人に増やすことで、認定こども園の認可定員拡大や年度途中の園児の増加に対応するとともに、保育の質の向上及び保育体制の充実を図る。

子育て支援センター（西当別地区）運営業務委託（新規）(10,035 千円)

「認定こども園おとぎのくに」内にある子育て支援センターの運営について、民間活力による充実した子育て支援サービスを提供するため民間へ業務委託を実施する。

学 校 教 育

1 重 点 目 標	P11
2 現 況	
(1) 学級数及び児童生徒・教職員数	P11
(2) 学 校 概 況	
① とうべつ学園	P12
② 西当別小学校	P14
③ 西当別中学校	P16
3 学 校 給 食	P18
4 保護者支援制度	P19

➤ 1 重点目標

小中一貫教育6年目、新たなステージへ

～併設型、一体型それぞれの小中一貫教育推進～

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 現況

(1) 学級数及び児童生徒・教職員数

令和5年5月1日現在

区分 学校名		学級数		児童生徒数（人）								教職員数（人）					
		普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1	西当別小学校	9	3	31	43	37	23	29	46	6	215	1	1	15	1	1	
2	西当別中学校	5	2	33	50	51				3	137	1	1	14	1	1	
3	とうべつ学園 （前期課程）	12	4	43	41	40	44	49	41	12	270		1	26	1	1	1
	とうべつ学園 （後期課程）	6	3	44	53	60				5	162	1	1	18	1	1	
合 計		32	12							26	784	3	4	73	4	4	1

※加配事業による教職員の配置（上記教職員数の内数）

加 配 事 業 名	西当別小学校	西当別中学校	とうべつ学園（前期課程）	とうべつ学園（後期課程）	合 計
指導方法工夫改善		1		1	2
通 級 指 導			3	1	4
免許外教科担任解消				1	1
主 幹 教 諭	0.5		0.5		1
専科指導（小中一貫）		1		2	3
日 本 語 指 導			1		1
少人数学級実践研究事業			1		1
事 務 職 員		1			1
合 計	0.5	3	5.5	5	14

(2) 学校概況

とうべつ学園（義務教育学校）	
校章・所在地	 【校章の意味】 中心の花は「亜麻の花」を表現。とうべつ学園の「と」を「T」にも見えるようにデザインし、当別の「当」の字で丸く囲むよう配置。「知」「徳」「体」「絆」「夢」を星に込め、学問の象徴でもあるペンで表現。 〒061-0205 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760
校歌	作詞 西下 航平 作曲 高木 慶太 一 曙光に照らさるる当別に 真空色付く亜麻の花 白樺戦ぎて風涼やかに 平野を臨みて深めよ心 二 黄金に覆わるる石狩野 紫雲にけぐる阿蘇の山 紅葉と交わりて色鮮やかに 自然を仰ぎて忘るな故郷 三 歴史に刻まるる開拓の 心受け継ぎ身を立てり 川辺を伝いて道賑やかに 一つに集いて学べよ我ら 四 雲雀東風吹かるるかすみ草 梟飛び立つ影白く 希望を歌いて身を健やかに 未来を拓きて愛せよ故郷
沿革の概要	【母 体】当別小学校及び当別中学校の統合 平成30年 基本構想策定 令和 元年 開校準備委員会・教育課程編成委員会設置 2年 校名決定 実施設計策定 校舎建設工事（～令和4年2月） 校章制定 3年 校歌制定 4年 とうべつ学園開校
教育目標	夢と志を持ち 希望に満ちた未来を拓く子どもの育成 ◇ 高い志と確かな学力をはぐくむ （知） ◇ 思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ （徳） ◇ たくましい身体と心をはぐくむ （体）
経営の重点	1 信頼と調和のある学校づくりの推進 2 児童生徒の自己実現を図る教育の推進 3 必要となる資質・能力を確実に育む教育の推進 4 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 5 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 6 時代を見通し、新たな可能性を育む教育の推進 7 家庭・地域と連携し、地域と共に児童生徒を育む教育の推進
研究主題	《 研 究 主 題 》 「主体的に深く考える児童生徒の育成」～ 義務教育9年間を見通した授業の工夫 ～

特色ある教育活動

1 系統性・連続性を踏まえた生活・学習指導

・教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実を図る。

・校務分掌に支援教育部を設置し、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。

2 日常的な異学年交流活動

・日常的な縦割り班活動、地域や異校種との交流を通じて、豊かな人間性や社会性を培う。

3 4・5・6年生における一部教科担任制

・専門的な教科指導の充実による学力の向上を促す。

・多くの指導者のかかわりによる、きめ細かい指導と児童生徒の多面的な理解の促進を図る。

4 5年生からの児童生徒会活動の実施

・5年生から児童生徒会活動に参加し、協力して課題を解決し、自分たちの手でよりよい学校をつくろうとする自主的・実践的な態度を育てる。

5 5年生からの部活動の参加

・5年生から部活動に参加可能とし、スポーツや文化芸術等に親しもうとする態度を養う。

・後期課程での本格的な部活動開始に向けた基本的技能や基礎的体力の向上を図る。

6 英語教育の全学年実施

7 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施

学級編制

令和5年5月1日現在

(前期課程)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	12 <4>
男子	25 (2)	19 (0)	23 (1)	18 (2)	26 (2)	17 (2)	128 (9)
女子	18 (0)	22 (0)	17 (1)	26 (1)	23 (0)	24 (1)	130 (3)
合計	43 (2)	41 (0)	40 (2)	44 (3)	49 (2)	41 (3)	258 (12)

(後期課程)

学年	7年	8年	9年	合計
学級数	2	2	2	6 <3>
男子	22 (1)	23 (2)	30 (1)	75 (4)
女子	22 (0)	30 (1)	30 (0)	82 (1)
合計	44 (1)	53 (3)	60 (1)	157 (5)

基礎期（1～4年生）

「基礎基本の確実な習得」

充実期（5～7年生）

「目標の設定と自ら学ぶ態度の育成」

発展期（8・9年生）

「自分の人生をデザインする力の育成
～夢の実現へ～」

※（）～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。

< >～特別支援学級数で外数とする。

教職員

令和5年5月1日現在

校長

吉村公孝

教頭（前期課程）

森國聡

（後期課程）

桂川淳

教職員数

主幹教諭1名 教諭40.5名（短時間1名） 養護教諭2名 栄養教諭1名
事務職員2名 時間講師1名 学力向上推進講師2名 特別支援教育支援員3名
特別支援学級介助員1名 特別支援学級看護師1名 事務嘱託員2名
学校管理人2名 スクールサポートスタッフ2名 学習指導員1名

西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

三
夕雲遠く しずまりて
阿蘇石山に あかねさす
われらはのぞみ もやしあい
育つよ育つ すこやかに
西当別の小学校

二
緑の原を つらぬきて
石狩川の 水清し
われらはともに 手を結び
進むよ進む ひとすじに
西当別の小学校

一
青き手稻の かがやけば
豊かなる野に 風かおる
われらはあした 集い来て
学ぶよ学ぶ さわやかに
西当別の小学校

作詞 坂本
作曲 津田
甫 亮

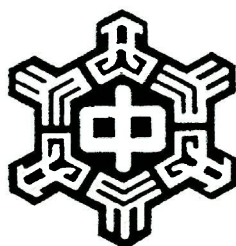
沿革の概要

昭和 26 年	獅子内小学校・太美小学校が合併して 西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定	平成 22 年	当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町 140 年記念パレード見学、 記念式典参加 (5 年生)
27 年	西当別小学校校歌制定	23 年	大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付
32 年	校舎増築、屋内体育館完成	24 年	J R 電化祝賀式典参加
36 年	開校 10 周年記念式挙行	26 年	西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転
46 年	開校 20 周年記念式挙行	27 年	電子黒板・書画カメラ設置
48 年	増築校舎完成 (理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	28 年	一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務) JICA 研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)
50 年	北海道小中学校放送教育研究大会開催		レクサンド市教育委員会視察団訪問
56 年	開校 30 周年記念式・祝賀会	29 年	小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始
57 年	新校舎完成 (普通教室 4・音楽室・理科室)	30 年	全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事 当教研学校課題研究発表会開催
58 年	新体育館落成式・祝賀会	令和 元年	体育館照明、トイレ、玄関改修工事
62 年	開校記念日指定・祝賀会	2 年	木質バイオマスボイラー設置工事 校内 LAN 設備改修、児童一人 1 台端末配置 石狩管内教育実践奨励表彰受賞
平成 元年	グラウンド改修工事		開校 70 周年記念品作成
3 年	高岡小学校を本校へ統合	3 年	中央玄関、東児童玄関および、1・2 階中央トイレ改修工事 当教研学校課題研究発表会開催
6 年	増築校舎落成式・祝賀会	4 年	
7 年	プレハブ校舎 4 教室完成		
8 年	増築校舎完成式 (普通教室 8・音楽室・図工室) 学校給食開始		
9 年	「たんぼぼ学級」設置		
13 年	新学校教育目標制定 開校 50 周年記念式・祝賀会		
14 年	視聴覚室改修		
15 年	児童図書管理コンピューター化		
16 年	ハマナス 50 本植樹 (朝日新聞社より寄贈)		
18 年	文部科学省指定の「小中連携事業」 開始 (2 か年)		
19 年	国際理解教育開始 (ALT との学習) JICA 研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)		

教育目標	◇ 心ゆさぶる感性 〈心〉 ・ のびのび語り合う子 ◇ 学びを求める知性 〈学び〉 ・ ぐんぐん学び合う子 ◇ 生き方を磨く個性 〈生き方〉 ・ もりもりきたえ合う子 [平成 13 年 3 月改定]																																								
経営の重点	◆支持的風土の学年・学級づくりの推進 ◆体力の向上と健康安全教育の推進 ◆確かな学力の向上を図る学習指導の充実 ◆一人ひとりを大切にした特別支援教育の充実 ◆心豊かで意志ある子どもの育成 ◆小中一貫教育の推進																																								
研究主題	≪ 重点指標 ≫ 「チーム西当小の協働による、主体的・対話的に学ぶ、意志ある子どもの育成」 ≪ 研究主題 ≫ 「自他を大切にし、主体的に学び合う子どもの育成」																																								
特色ある教育活動	1 基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導 ・ 全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・ 学力向上推進講師の活用（理科、英語） ・ 小中連携の専科講師の活用（体育） ・ I C T 機器（クロームブック等）を活用した授業改善の推進 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） ・ 様々な教科や特別活動、総合的な学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 N P O と取り組む環境教育 ・ N P O の協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5 年生「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 ・ 全校一斉の「朝読書」、11 月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 ・ 思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・ 明るい挨拶が積極的にできるよう「あいさつ運動」を児童会が主体的に計画運営する ・ 「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展 ・ 保育所園児の学校体験会、1 年生との交流活動 ・ 6 年生の中学校登校、授業体験、部活動体験 ・ 小中合同クリーン作戦、小中合同いじめ撲滅集会など合同行事の開催 7 教科担任制の実施 8 英語教育の全学年実施 9 独自教科「とうべつ未来学」の全学年実施																																								
学級編制	令和 5 年 5 月 1 日現在 <table><tr><td>学年</td><td>1 年</td><td>2 年</td><td>3 年</td><td>4 年</td><td>5 年</td><td>6 年</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>9 <3></td></tr><tr><td>男子</td><td>15 (1)</td><td>28 (1)</td><td>20 (0)</td><td>8 (3)</td><td>14 (1)</td><td>23 (0)</td><td>108 (6)</td></tr><tr><td>女子</td><td>16 (0)</td><td>15 (0)</td><td>16 (0)</td><td>15 (0)</td><td>15 (0)</td><td>23 (0)</td><td>100 (0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>31 (1)</td><td>43 (1)</td><td>36 (0)</td><td>23 (3)</td><td>29 (1)</td><td>46 (0)</td><td>208 (6)</td></tr></table> ※ () ～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < > ～特別支援学級数で外数とする。	学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	学級数	1	2	2	1	1	2	9 <3>	男子	15 (1)	28 (1)	20 (0)	8 (3)	14 (1)	23 (0)	108 (6)	女子	16 (0)	15 (0)	16 (0)	15 (0)	15 (0)	23 (0)	100 (0)	合計	31 (1)	43 (1)	36 (0)	23 (3)	29 (1)	46 (0)	208 (6)
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計																																		
学級数	1	2	2	1	1	2	9 <3>																																		
男子	15 (1)	28 (1)	20 (0)	8 (3)	14 (1)	23 (0)	108 (6)																																		
女子	16 (0)	15 (0)	16 (0)	15 (0)	15 (0)	23 (0)	100 (0)																																		
合計	31 (1)	43 (1)	36 (0)	23 (3)	29 (1)	46 (0)	208 (6)																																		
教職員	令和 5 年 5 月 1 日現在 校 長 八木橋 桂 二 教 頭 瀬 野 裕 子 教職員数 主幹教諭 1 名 教諭 14 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名 学力向上推進講師 1 名 時間講師 1 名 特別支援教育支援員 3 名 特別支援学級介助員 1 名 事務嘱託員 1 名 学校管理人 1 名 スクールサポートスタッフ 1 名 学習指導員 1 名																																								

西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く
夕映えの 広がるほとり
厳かしく 立てる学び舎
西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に
先人の 功徳ひつ
集い合う 若人われら
西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ
行く水は 広野つるほす
豊けしや みのりの里わ
西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝
われら今 光を受けて
踏み分けん 真の長道
西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和22年	獅子内小に併置開校	平成16年	全道ソフトボール大会3位
	当別町制施行町立に	17年	新教育目標設定
23年	校章制定、独立校舎落成	18年	全道ソフトボール大会3位
25年	高岡分校設置		18・19年度国立教育政策研究所委嘱事業 小中連携教育実践研究指定校
26年	旧校歌制定	19年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
31年	体育館落成	20年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
32年	開校10周年式典	21年	モンゴル国教育視察団訪問
38年	高岡分校独立	22年	E S D日米教員交流団来校
42年	開校20周年式典		体育館耐震改修工事
43年	高岡中学校統合	23年	当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会
46年	町プール校地に設置	25年	体育館大規模改修工事
49年	スクールバス運行		旧校舎給水管改修工事
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	26年	校務用生徒用パソコン更新
52年	開校30周年式典	27年	電子黒板・書画カメラ設置
54年	体育館落成	29年	小中一貫教育開始
56年	新校舎落成記念式典		開校70周年
57年	校舎落成記念植樹	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加
	グラウンド完成	31年	部活動後援会設立
平成4年	学校週5日制開始	令和元年	町150年記念事業プレイベント参加
8年	学校給食完全実施、事務補配置	2年	新型コロナのため臨休(4/11~5/31)
	全国スキー大会回転優勝(個人)		木質チップボイラー工事
9年	開校50周年式典・スウェーデン訪問		校内LAN設備改修、生徒一人1台端末
11年	全道剣道大会3位(個人)	4年	拠点校方式部活動開始
12年	増築校舎完成		全日本吹奏楽コンクール予選参加
	町P連研究大会(本校PTA主管)		
13年	特殊学級設置・10学級編制		
14年	全道新体操準優勝(個人)		
15年	全道新体操優勝、準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、
◇ 高い知性 <知>
◇ 強い意志 <徳>
◇ 健やかな体 <体>
を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の方針と重点	<経営の方針> 【令和5年度 重点教育目標】 『 Nice Try ～チャレンジせよ～ 』 <教育推進の重点> 1. 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進 2. 基礎・基本の確実な習得と、自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の推進 3. 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 4. 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 5. 時代の要請や今日的な課題をふまえ、新たな可能性を創造する教育の推進 6. 家庭・地域・CSと連携し、地域と共に歩む教育の推進 7. 学校事務の管理・運営と教育環境の整備・充実 8. 学びをつなぐ信頼される学校づくりの推進																									
研究主題	≪ 研究主題 ≫ 『 個別最適な学びを、自ら創る生徒の育成 』 ～ 「授業改革055」につなげる、シンキング・サイクルの構築 ～																									
特色ある教育活動	①小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会 小学校体育専科授業・合同研修・独自教科「とうべつ未来学」全学年実施など ②朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施 ③生徒会活動 いじめ撲滅の取り組み ・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言 ・一貫教育・CS連携事業 ・クリーン作戦 ・挨拶運動																									
学級編制	令和5年5月1日現在 <table><tr><td>学年</td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>合計</td></tr><tr><td>学級数</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>5 <2></td></tr><tr><td>男子</td><td>13(0)</td><td>24(0)</td><td>24(0)</td><td>61 (0)</td></tr><tr><td>女子</td><td>20(1)</td><td>25(1)</td><td>28(1)</td><td>73 (3)</td></tr><tr><td>合計</td><td>33(1)</td><td>49(1)</td><td>52(1)</td><td>134 (3)</td></tr></table> ※ () ～特別支援学級の児童・生徒数で外数とする。 < > ～特別支援学級数で外数とする。	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	1	2	2	5 <2>	男子	13(0)	24(0)	24(0)	61 (0)	女子	20(1)	25(1)	28(1)	73 (3)	合計	33(1)	49(1)	52(1)	134 (3)
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	1	2	2	5 <2>																						
男子	13(0)	24(0)	24(0)	61 (0)																						
女子	20(1)	25(1)	28(1)	73 (3)																						
合計	33(1)	49(1)	52(1)	134 (3)																						
教職員	令和5年5月1日現在 校長 森 聡 教頭 小 関 展 彰 教職員数 教諭 13 名 養護教諭 1 名 事務職員 2 名 時間講師 1 名 学力向上推進講師 1 名 特別支援教育支援員 2 名 事務嘱託員 1 名 学校管理人 1 名 スクールサポートスタッフ 1 名																									

➤ 3 学校給食

(1) 学校給食の役割

学校給食は、食育として栄養バランスのとれた食事の提供、正しい食習慣・食文化についての学び、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につけるなど大切な学びの場です。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ○ 栄養バランスのとれた豊かな学校給食 | ○ 望ましい食習慣を形成する学校給食 |
| ○ 人間関係を豊かにする学校給食 | ○ 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食 |

(2) 食育の推進（栄養教諭による授業・指導）

地場産食材を活用し、伝統食や季節の行事食を提供することにより、子供たちが地域を知り産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。

(3) 給食費（令和5年4月改定）

区分	実施回数（回）	一食単価（円）	年額（円）
小学校 （義務教育学校 前期課程）	1年	184 ・ 185	48,944 ・ 49,210
	2年	192	51,072
	3年	190 ・ 191	51,870 ・ 52,143
	4年	190 ・ 191	51,870 ・ 52,143
	5年	187 ・ 191	52,173 ・ 53,289
	6年	187 ・ 191	52,173 ・ 53,289
中学校 （義務教育学校 後期課程）	1年 （7年）	192 ・ 193	65,088 ・ 65,427
	2年 （8年）	187 ・ 190	63,393 ・ 64,410
	3年 （9年）	177 ・ 182	60,003 ・ 61,698

(4) 学校給食センターの運営

①学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

《委員構成》教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 《委員任期》2年

②調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス（株）へ委託 《業務従事者》28名

(5) 施設概要

区 分	概 要
名 称	当別町学校給食センター
所 在 地	石狩郡当別町若葉 2224 番地
建 設 年 度	平成 7 年 5 月着工
開 設	平成 8 年 1 月（平成 7 年度 3 学期）
敷 地 面 積	3,625.00 m ² （1,096.56 坪）
建 物 面 積	1,098.12 m ² （332.18 坪）
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部 2 階建
調理場区分	共同調理場
厨 房 方 式	ドライシステム
調 理 能 力	最大 3,000 食／日
廃 水 処 理	回転円板方式
厨 芥 処 理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386 千円
実 施 状 況	1 日最大提供食数 874 食（令和 5 年 5 月現在）

➤ 4 保護者支援制度

(1) 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

≪内訳（令和5年度支給額）≫

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	54,060	63,000	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1 年	54,060	63,000	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受給した場合は対象外
学用品費 (学) 通学用品費 (通) 校外活動費 (校)	1 年	(学) 11,630	(学) 22,730	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費並びに校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2 年	(学) 11,630 (通) 2,270 (校) 実費	(学) 22,730 (通) 2,270 (校) 実費	
	3 年			
	4 年			
	5 年			
	6 年			
体育実技用具費	スキー	26,500	38,030	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー用具） 小1・4年、中1年のみ
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
卒業アルバム代等		11,000	8,800	通常制作する卒業アルバム及び卒業記念写真等の購入費（R3～） 小6年、中3年のみ
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿疱疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

(2) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

≪内訳（令和5年度上限額）≫

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,555	30,490
学用品・通学用品購入費		5,820	11,370
体育実技用具費 小1～3年、4～6年、中1～3年の 各期間に1回まで	スキー	13,255	19,015
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,845	3,105
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		800	1,155
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,790	28,860
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

(3) 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

社 会 教 育

1	重 点 目 標	P21
2	事 業	
(1)	生涯学習推進事業	P21
(2)	読書活動推進事業	P22
(3)	生涯スポーツ推進事業	P23
3	学校教育との連携事業	P24
4	社会教育施設	
(1)	コミュニティーセンター・文化施設等	P25
(2)	体 育 施 設	P26

➤ 1 重点目標

1 新たな生涯学習プログラムの充実

2 児童生徒支援の充実

3 図書館機能の充実

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 事業

(1) 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
青少年リーダー養成事業	4月～3月	白樺コミセン等	中学1年～高校3年	リーダー研修会の参加や地域行事の手伝いを通じ、青少年リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月～3月 (全21講座)	白樺コミセン 各見学・体験・ 交流施設等	60歳以上の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
北海道医療大学 連携講座	7月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
子育てを 考える つどい	7月～3月	各小・中学校 地区会館等	PTA等	講演会、懇談会等を開催し、子育てについて考え、効果的に家庭や地域社会の教育力の向上と充実を図る。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当別町文化祭	11月3日 ～11月5日	白樺コミセン 総合体育館	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
歴史学習講座	5月～3月 (年11回)	白樺コミセン	町民	当別町の古文書の解読により、当別町開拓の歴史を学ぶ。
プログラミング教室	夏1回 冬1回	白樺コミセン 西当別コミセン	小学生 中学生	早い段階からプログラミング技術等を得る機会を設け、論理的に物事を思考する力や創造性・問題解決能力の育成を図る

(2) 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
ブックスタート	10 ヶ月児 健 診 時	ゆ と ろ	10 ヶ月児 健 診 を 受 診 す る 親 子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	6 月	各 小 学 校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味・関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡 回 図 書	5月～3月	認定こども園 ゆ と ろ 各小・中学校 プレイハウス	幼 児 小 学 生 中 学 生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書館の新規購入図書を認定こども園、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
図 書 修 繕	4月～3月 毎月第3 金 曜 日	図 書 館	町民	ボランティアの協力により、破損した図書の修繕を行う。
学校図書館支援活動	毎 週 指 定 曜 日 ・ 時 間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書館の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
読 書 週 間	(春) 4月1日 ～ 5月31日 (秋) 10月1日 ～ 11月30日	図 書 館	町民	おすすめ本の展示会、古本市等を実施し、読書の楽しさと大切さを感じ、読書活動の推進を図る。
POPコンテスト	7 月 7 日 ～8月31日	図 書 館 白樺コミセン 西当別コミセン	町民	本のPOPづくりをコンテスト形式で実施し、図書館への興味関心を高め、読書活動の推進を図る。

(3) 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学 校 開 放 事 業	4 月 1 日 ～3月 31 日	各小・中学校 体 育 館 グラウンド	町 民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4 月 ～ 3 月		小 学 生 中 学 生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4 月 ～ 3 月 毎月いずれかの日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町 民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、アリーナの無料開放を行う。
青 少 年 ス ポー ツ の 時 間	不 定 期 土 曜 日 9 時 ～ 12 時	総合体育館 西当別コミセン	町 内 の 小 ・ 中 ・ 高校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、アリーナの無料開放を行う。

➤ 3 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
土曜教室 (地域学校協働本部事業)	6月～3月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	様々な体験活動や郷土学習、異年齢交流を通して学習する楽しさを伝える。
放課後学習会 (地域学校協働本部事業)	4月～3月	各小・中学校	小学生 中学生	学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
イングリッシュ・プロジェクト (地域学校協働本部事業)	7月～12月 (年7回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生 中学生 高校生 町民	様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、異文化の理解を図る。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	11月～12月	白樺コミセン	町内の 小・中・ 高校生、 北海道医 療大学生	町の課題に向き合うことにより社会の一員としての資質と自覚を高める。
少年の意見発表会	2月3日	ゆとろ	町内の 小・中・ 高校生	日常生活での体験や考えを自己の言葉で表現することにより社会参加意識の形成を図る。また、大人に対し少年への理解を深めてもらう機会とする。
地域運動部活動 推進事業	5月～2月	中学校	中学生	休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、検討を進める。

➤ 4 社会教育施設

(1) コミュニティーセンター・文化施設等

白樺コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1	電話	0133-23-2511	FAX	0133-23-2516
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室				

西当別コミュニティセンター

所在地	石狩郡当別町太美町 22 番地 7	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 9 時～午後 10 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
施設概要	アリーナ、図書館分館、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室				

当別町学習交流センター

所在地	石狩郡当別町錦町 1248 番地 7	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	図書館、歴史資料室		

当別町図書館“ふくろう図書館”

所在地	当別町学習交流センター内	電話・FAX	0133-23-0573
開館時間	午前 10 時～午後 5 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）		

当別町図書館西当別分館

所在地	西当別コミュニティセンター内	電話	0133-26-3300	FAX	0133-26-3600
開館時間	午前 10 時～午後 9 時				
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
貸出期間	2 週間以内（1 人 10 冊まで）				

世紀会館

所在地	石狩郡当別町園生 57 番地 8	電話	0133-23-2896
開館時間	午前 9 時～午後 10 時		
休館日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
施設概要	洋室、集会室、和室		

当別伊達記念館・伊達邸別館

施設概要	明治4年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鍬が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治13年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。		
所 在 地	石狩郡当別町元町 105 番地	電話	0133-22-3735
開館時間	午前 10 時～午後4時 30 分		
休 館 日	月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）		
料 金	無料		

(2) 体育施設

①屋内施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館 ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所 在 地：石狩郡当別町白樺町 2792 番地 施設概要：アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分 休 館 日：第 1・3 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 問合せ先：0133-22-3833

②屋外施設

施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	所 在 地：石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 施設概要：バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	所 在 地：石狩郡当別町元町 1119 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	所 在 地：石狩郡当別町元町 1119 番地 3（阿蘇公園内） 施設概要：土俵 1 面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	所 在 地：石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 施設概要：全天候型コート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	所在地：石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 施設概要：クレーコート 4 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
とうべつ学園水泳プール ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成 28 年 4 月 1 日開始]	所 在 地：石狩郡当別町元町 102 番地 施設概要：25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6 月～9 月（月曜日、8/15・16 は休館） 利用時間：10 時～12 時、13 時～20 時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	所 在 地：石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	所 在 地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティセンター
あいあい公園パークゴルフ場	所 在 地：石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 施設概要：全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティセンター
遊遊公園テニスコート	所 在 地：石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 施設概要：オムニコート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティセンター

子育て・幼児教育

1	重点目標	P27
2	事業	
(1)	特別保育事業	P27
(2)	子ども発達支援センター事業	P28
(3)	学童保育事業	P29
(4)	子育て支援事業	P29
3	子育て・幼児教育施設	P31
4	保護者支援制度	P31

➤ 1 重点目標

幼保小の円滑な接続と関係機関との連携

※詳細は、「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 事業

(1) 特別保育事業

事業名	実施場所及び日時	利 用 料 等	対 象	目的と事業概要
延長保育事業	【実施場所】 ・おとぎのくに ・当別夢の国幼稚園 【実施時間】 18時30分～19時30分	・課税世帯 1日300円 (月額上限)2,500円 ・非課税世帯 1日60円 (月額上限)600円	各施設利用児童	保護者の就労形態の多様化等により、通常の保育時間を超えて保育の実施が必要な場合に延長保育を行う。
障がい児保育事業	【実施場所】 ・おとぎのくに ・当別夢の国幼稚園 【実施期間】 4月～3月	無料	各施設利用児童(3歳児以上)	心身に障がいや発達に遅れを有する児童に対し、保育士を加配し適切な支援を行うことで、当該児童の心身の健全な発達及び育成を促進する。
一時預かり事業	<一般型> 【実施場所】 おとぎのくに 【実施時間】 7時30分～18時30分	・3歳児未満 1日2,000円 ・3歳児以上 1日1,500円 ・非課税世帯 無料	1歳6ヵ月～就学前	保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合等、育児負担の軽減を図るため、児童に対し保育を行う。
	<幼稚園型> 【実施場所】 ・おとぎのくに ・当別夢の国幼稚園 【実施時間】 ①7時30分～8時30分 ②14時45分～18時30分 ③18時30分～19時30分 ④土曜(休園)・長期休み	①1日200円 ②1日800円 ③1日300円 ④1日1,000円	幼稚園児及び2歳児	保護者の私用や仕事など希望により、教育時間前後に預かり保育を行う。

(2) 子ども発達支援センター事業

事業名	実施場所及び期間	利 用 料 等	対 象	概 要
児 童 発 達 支 援 事 業	【実施場所】 子ども発達支援センター 【実施期間】 4月～3月	1回 1,259 円	未就学児	日常生活における基本的動作や知識技能を習得し、集団生活に適用することができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス 事 業	【実施場所】 子ども発達支援センター 【実施期間】 4月～3月	・放課後 1回 791 円 ・学校休業日 1回 908 円	就学児	生活能力の向上のために必要な訓練を行う等、社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
保 育 所 等 訪 問 支 援 事 業	【実施場所】 保育所等所属施設 【実施期間】 4月～3月	・単独支援 1回 1,190 円 ・複数支援 1回 1,107 円	子ども発達 支援セン ター利用者	保育所等における集団生活に適應することができるよう、当該保育所等において適切かつ効果的な支援を行う。
障 害 児 相 談 支 援 事 業	【実施場所】 子ども発達支援センター 【実施期間】 4月～3月	無料	18歳以下	児童福祉法に基づく障害児通所支援等の利用に必要な障害児支援利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。
特 定 相 談 支 援 事 業	【実施場所】 子ども発達支援センター 【実施期間】 4月～3月	無料	一般	障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス等の利用に必要なサービス利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。

(3) 学童保育事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
放課後児童健全育成事業 (当別町子どもプレイハウス)	【開催期間】 4月～3月 (月～土) 【開催時間】 ・平日 下校時～19時 ・土・長期休業日 8時～19時 ※18時～19時は、 延長保育実施 (利用料別途 必要)	当別子ども プレイハウス (とうべつ学園内) 西当別子ども プレイハウス (西当別小学校内)	小学生	仕事等の理由により、放課後等に保護者がいない家庭の児童の保育を行い、安全な環境で集団活動を行う。 【事業内容】 ・学習指導 ・スポーツ指導 ・合同遠足 ・映画鑑賞 ・調理体験 ・ハンドクラフト ・お楽しみ会 等

(4) 子育て支援事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て支援拠点事業 (当別町子育て支援センター事業)	4月～3月 (月～金)	当別町総合 保健福祉センター ゆとろ内 (あそびのひろば) おとぎのくに内 (おとぎキッズ)	乳幼児とその保護者	町内の子育て中の親子の交流促進や育児相談、情報提供等きめ細かな子育て支援活動を実施するため、町内2か所に子育て支援センターを設置し、育児者の子育てに対する不安感、孤立感、負担感の解消を目指す。 【事業内容】 ・設定保育事業 0歳～6歳までの就学前の子どもと保護者 ・子育て講座 ・育児者リフレッシュ講座 ・多世代交流事業 ・子育て支援情報提供 ・子育て相談 等
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポートセンター事業)	4月～3月		小学生以下の子どもがいる家庭	ファミリー・サポートセンター(地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設立し、地域の子育てを地域の力で支援する相互協力体制構築により、地域全体で子どもを育てる機運を高め、子育てしやすい環境を整備する。

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て短期 支援事業 (ショート ステイ事業)	4月～3月		18歳未満 の児童	保護者が病気などの理由により家庭で子どもをみることが困難になった場合に、適切に養育できる児童養護施設又は里親宅等で宿泊を伴う預かりを行うことで福祉の向上を図る。
児童虐待 防止事業	4月～3月	認定こども園 各小・中学校	18歳未満 の児童	児童虐待に対する適切な対応、防止、予防及び早期発見その他の児童虐待防止に関する啓発を行う。

➤ 3 子育て・幼児教育施設

子ども発達支援センター

所在地	石狩郡当別町西町 32 番地 1	
連絡先	(障害児通所支援事業所)	0133-23-3009 (電話・FAX)
	(障害児相談支援・特定相談支援事業所)	0133-23-2788 (電話)
開設時間	午前 8 時 45 分 ~ 午後 5 時 15 分	
休所日	土・日曜日、祝日、年末年始 (12 月 29 日~1 月 3 日)	
施設概要	個別指導室、集団指導室、相談室、検査室、事務室	

➤ 4 保護者支援制度

(1) 就園援助事業助成費

幼児教育・保育の無償化制度により、認定こども園で無償となっている保育料以外で利用者が負担している「給食費（主食費）」（生保の副食費は法により免除）と「教材費」について、生活保護世帯を対象に補助金を交付する。

(2) 教育・保育施設等助成費

【対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園】

① 施設型給付費

保護者の経済的負担を軽減するため、児童 1 人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差分を教育・保育施設に対し、支給する。

② 特別保育事業補助金等

多様な教育・保育ニーズへの対応を図るため、延長保育事業、障がい児保育事業、一時預かり事業を実施している保育所等に対し、補助金等を交付する。

③ 多子世帯の保育料軽減支援事業

保育認定を受けた 3 歳未満児の第 2 子に係る保育料無償化事業を継続し、更に第 1 子カウントの年齢制限を拡充（所得制限有）して、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実に図る。

教育委員会

1 教育委員会

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 教育長及び教育委員 | P33 |
| (2) 令和5年度活動予定 | P34 |
-

➤ 1 教育委員会

(1) 教育長及び教育委員

【 教育長 】

令和5年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日就任 [1期]

【 教育委員 】

令和5年5月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [4期]
委 員	寺 田 郷 子	平成23年12月15日就任 [3期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [3期]
委 員	佐々木 成 尉	平成29年11月 1日就任 [2期]

【 歴代 教育長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初 代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2 代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3 代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4 代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5 代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6 代	有 澤 楨 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7 代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8 代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9 代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 令和 4年 9月30日
11代	三 澤 吏佐子	令和 4年10月 1日 ~ 現在

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

(2) 令和5年度活動予定

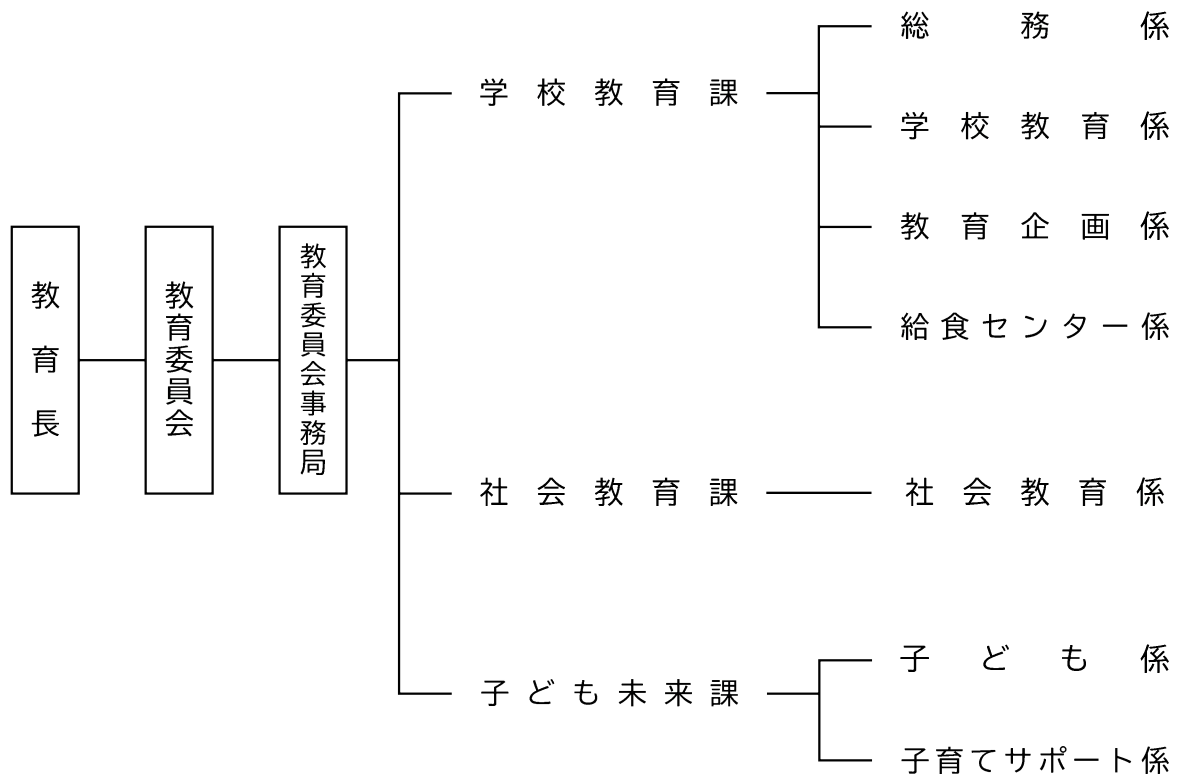
活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
令和5年 第5回定例会	令和 5年 4月19日	役場会議室	
第6回定例会	令和 5年 5月17日	役場会議室	
第7回定例会	令和 5年 6月28日	役場会議室	
第8回定例会	令和 5年 7月19日	役場会議室	
北海道市町村教育委員会研修会	令和 5年 7月21日	札幌市	
第9回定例会	令和 5年 8月16日	役場会議室	
第10回定例会	令和 5年 9月27日	役場会議室	
第11回定例会	令和 5年10月18日	役場会議室	
第12回定例会	令和 5年11月15日	役場会議室	
第13回定例会	令和 5年12月20日	役場会議室	
令和6年 第1回定例会	令和 6年 1月17日	役場会議室	
第2回定例会	令和 6年 2月14日	役場会議室	
第3回臨時会	令和 6年 3月 日	役場会議室	開催日未定
第4回定例会	令和 6年 3月27日	役場会議室	

* このほか、必要に応じて教育委員会臨時会及び研修会を実施します。

資 料

1	教育委員会組織図及び各課の分掌事務	P35
2	教育委員会事務局 職員一覧	P36
3	教育委員会の附属機関等	P37
4	教育関係各種団体	P43
5	指定文化財一覧	P45
6	教育の沿革	P46
7	統計データ	P52
(1)	小中学校施設の概況	
(2)	児童生徒数の推移	
(3)	各学校統合年の一覧	
(4)	就学援助の状況	
(5)	特別支援教育就学奨励費の状況	
(6)	特別支援学級等通学援助費の状況	
(7)	社会教育施設利用状況	
(8)	子ども発達支援センター利用状況	
(9)	教育・保育施設等助成費	

➤ 1 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



【学校教育課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること

➤ 2 教育委員会事務局 職員一覧

(令和5年4月1日現在)

教育長 三澤 吏佐子	教育部長	総務係			係長 主査(兼)	主任	主事(兼)
		学校教育課	学校教育係			係長 主任(兼) スクールソーシャルワーカー(会)	主事 主事
			— とうべつ学園(前期課程)			学力向上推進講師(会) 特別支援学級介助員(会) 特別支援学級看護師(会) 特別支援教育支援員(会) 事務嘱託員(会) 学校管理人(会)	(後期課程兼任)
			— とうべつ学園(後期課程)			学力向上推進講師(会) 特別支援教育支援員(会) 特別支援教育支援員(会) 事務嘱託員(会) 学校管理人(会)	(前期課程兼任)
			— 西当別小学校			学力向上推進講師(会) 特別支援学級介助員(会) 特別支援教育支援員(会) 特別支援教育支援員(会) 特別支援教育支援員(会) 事務嘱託員(会) 学校管理人(会)	(西当別中学校兼任)
			— 西当別中学校			学力向上推進講師(会) 特別支援教育支援員(会) 特別支援教育支援員(会) 事務嘱託員(会) 学校管理人(会)	(西当別小学校兼任)
			— 適応指導教室			指導員(会) 指導員(会)	
			— 教育企画係			係長 主任(兼)	
			— 給食センター係			係長 栄養士(会)	主任
		社会教育課	社会教育係			係長 主任	主事 主事 主事 主事
			— 課長 (西当別コミュニティセンター館長) (学習交流センター館長) (当別町図書館館長)			社会教育指導員(会) 社会教育指導員(会)	
			— 少年指導センター			専任指導員(会)	
			— 西当別コミュニティセンター			社会教育指導員(会)	
			— 学習交流センター			歴史研究専門員(会)	
			— 当別町図書館			図書館司書(会) 図書館情報専門員(会)	
			— 当別町図書館西当別分館			図書館情報専門員(会) 図書館情報専門員(会)	
			— 伊達記念館				
		子ども未来課	— 子ども係			係長 主任 主任	主事
			— 子ども発達支援センター			指導員(会) 指導員(会) 指導員(会)	
			— 子育てサポート係			係長 主任 主任(兼) 主任保健師	主事 主事 主事 主事(兼)

合計 78名

注：職名(会)～会計年度任用職員

➤ 3 教育委員会の附属機関等

各委員：令和5年5月1日現在

(1) 当別町教育支援委員会（附属機関）

教育支援委員会委員					
氏 名		選任区分		所 属	
前 田 史 郎		第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック	
吉 村 公 孝		第2号委員	学識経験者	当別町立とうべつ学園	
八木橋 桂 二		第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別小学校	
千 田 冬 威		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園	
小 倉 陽 介		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園	
三 浦 ゆかり		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校	
畠 山 謙		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校	
永 間 尊 史		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立とうべつ学園	
石 本 美奈子		第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校	
永 井 康 義		第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校	
長谷川 恵 子		第5号委員	児童福祉関係職員	当別町福祉部保健福祉課	
五十嵐 京 湖		第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園おとぎのくに	
砂 田 敦 子		第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園当別夢の国幼稚園	
大 溝 綾 乃		第5号委員	児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター	
教育支援委員会専門委員					
千 田 冬 威		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園	
小 倉 陽 介		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園	
三 浦 ゆかり		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校	
畠 山 謙		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別小学校	
永 間 尊 史		特別支援教育担当教諭		当別町立とうべつ学園	
石 本 美奈子		特別支援教育担当教諭		当別町立西当別中学校	
大 溝 綾 乃		児童福祉関係職員		当別町子ども発達支援センター	

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員		
氏 名	選任区分	所 属
永 井 康 義	特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
千 田 冬 威	特別支援学級設置校教職員	当別町立とうべつ学園
三 浦 ゆかり	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校

特別支援教育専門家委員			
氏 名	選任区分		所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
菅 原 博 子	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
齊 藤 真 善	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校

[任期] 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会（附属機関）

氏 名	分 野	職能区分	所 属
山 谷 敬三郎	教 育	生涯学習	北翔大学
縄 野 歩	法 律	弁護士	札幌弁護士会
濱 本 琢	医 療	精神科医	江別すずらん病院
富 家 直 明	心 理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福 間 麻 紀	福 祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 令和4年5月1日～令和6年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内 科 医		耳 鼻 科 医	眼 科 医
とうべつ学園 （前期課程）	1～3年	前 田 史 郎	佐 伯 昌 彦	小 林 和 夫
	4～6年	古明地 克 英		
西当別小学校	全 学 年	藤 田 朋 紀	東 山 佳 澄	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	澤 崎 兵 庫	佐 伯 昌 彦	
西当別中学校	全 学 年	朴 昶 勲	東 山 佳 澄	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯 科 医		薬 剤 師
とうべつ学園 （前期課程）	1～4年	齊 藤 正 人	片 岡 芳 仁
	5 年	田 西 和 伸	
	6 年	黒 澤 遠 奈	
西当別小学校	1～2年	相 良 昌 宏	田 西 洋 三
	3～6年	三 浦 宏 子	
とうべつ学園 （後期課程）	全 学 年	飯 嶋 雅 弘	片 岡 芳 仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠 司	田 西 洋 三
	3 年	相 良 昌 宏	

[任期] 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委 員 長	森 聰	教職員
副委員長	瀬 野 裕 子	教職員
委 員	佐 藤 純 代	教職員
監 事	佐 藤 亘	教職員
監 事	佐 藤 太一郎	保護者
委 員	有 澤 賢太郎	保護者
委 員	小 林 彩 華	保護者
委 員	田 西 洋 三	学識経験者
委 員	島 田 恭 子	学識経験者
委 員	館 柳 律 子	学識経験者

[任期] 令和3年12月22日～令和5年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会（附属機関）

氏 名	区 分		備 考
【 当 別 地 区 】			
山 田 健 太	第1号委員	地域住民	委員長
長谷部 直 樹	第1号委員	地域住民	副委員長
難 波 雅 美	第1号委員	地域住民	
小田島 正 高	第1号委員	地域住民	
加 藤 勇 二	第1号委員	地域住民	
松 岡 宏 尚	第1号委員	地域住民	
泉 亨 英 徳	第1号委員	地域住民	
鰐 渕 真太郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
佐 藤 太一郎	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
並 川 憲 多	第2号委員	保護者	とうべつ学園PTA
小 松 芳 幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
【 西 当 別 地 区 】			
山 田 佳 秀	第1号委員	地域住民	委員長
佐々木 健 児	第1号委員	地域住民	副委員長
大 坪 圭 子	第1号委員	地域住民	
泉 亨 智 則	第1号委員	地域住民	
金 子 景次郎	第1号委員	地域住民	
小 貫 幸 恵	第1号委員	地域住民	
曾 川 昭 治	第1号委員	地域住民	
佐々木 彦 治	第1号委員	地域住民	
柳 田 隆	第1号委員	地域住民	
和 島 朋 広	第1号委員	地域住民	
吉 野 裕 宜	第1号委員	地域住民	
仲 保 智 宏	第1号委員	地域住民	
有 澤 賢太郎	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
中 田 綾 子	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
若 命 泰 寛	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
五十嵐 京 湖	第4号委員	その他必要と認めるもの	認定こども園おとぎのくに園長
瀬 野 裕 子	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校教頭
小 関 展 彰	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教頭
岩 崎 晋 也	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校主幹教諭
早矢仕 浩 司	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校教諭
木 瀬 尚 貴	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教諭
竹 治 義 規	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校教諭

[任期] 令和4年4月1日～令和6年3月31日

(7) 当別町文化財調査審議会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
会 長	鎌 田 望	学識経験者
副会長	梅 枝 正 春	学識経験者
委 員	倉 田 守	学識経験者
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	大 口 弘 美	学識経験者

[任期] 令和3年12月20日～令和5年12月19日

(8) 当別町社会教育委員会（附属機関）

職 名	氏 名	選任区分
委 員	浜 上 尚 也	学識経験者
委 員	吉 村 公 孝	学校教育関係者
委 員	近 藤 留 美	社会教育関係者
委 員	曾 川 昭 治	社会教育関係者
委 員	伊 藤 美穂子	社会教育関係者
委 員	岡 隆 太	社会教育関係者
委 員	佐 藤 太一郎	家庭教育活動者
委 員	中 田 綾 子	家庭教育活動者
委 員	川 合 秋 夫	学識経験者

〔任期〕 令和5年4月24日～令和7年4月23日

(9) 当別町子ども読書活動推進委員会

職 名	氏 名	所 属
委 員	渡 部 泰 夫	学識経験者
委 員	金 木 雅 美	当別町教育委員会子ども未来課
委 員	寺 田 美由紀	認定こども園おとぎのくに
委 員	文 字 絵里子	認定こども園当別夢の国幼稚園
委 員	永 坂 洋 美	とうべつ学園
委 員	弥勒院 瑞 枝	西当別小学校
委 員	小 柳 華奈子	西当別中学校
委 員	富士本 亜希子	とうべつ学園よみきかせ隊

〔任期〕 令和5年5月1日～令和7年4月30日

(10) 当別町スポーツ推進委員（附属機関）

職 名	氏 名	分担事項
委員長	浜 上 尚 也	スキー、サイクリング、コーディネーション
副委員長	伊 藤 美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、水泳指導者、コーディネーション
委 員	野 口 和 之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
委 員	石 澤 ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委 員	日 光 正 博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委 員	木 村 純 一	剣道、フライングディスク
委 員	中 多 美 幸	ミニバレー
委 員	栄 木 龍 也	サッカー、軽スポーツ
委 員	菅 野 敬 正	陸上、トライアスロン
委 員	須 藤 豪	サッカー、コーディネーション
委 員	田 村 直 紀	ミニバレー、バドミントン
委 員	武 田 雅 子	バドミントン、陸上
委 員	新 井 和 也	フライングディスク、ボッチャ、スキー
委 員	池 田 友 洋	ボッチャ、フライングディスク
委 員	石 田 妙 子	テニス

〔任期〕 令和4年5月1日～令和6年4月30日

(11) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏 名	関係機関・団体
須 藤 政 信	当別町民生児童委員協議会
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中 田 綾 子	当別町PTA連合会
佐 藤 太一郎	当別町子ども会育成連合会

〔任期〕 令和5年5月26日～令和6年5月25日

少年指導委員	
氏 名	関係機関・団体
【 当 別 地 区 】	
島 田 洋 輔	とうべつ学園
本 間 哲 善	とうべつ学園
藤 森 敬 貴	北海道当別高等学校
佐 藤 政 彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐 淵 亜紀子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
後 藤 尚 範	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
棒 田 克 幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
須 藤 政 信	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
石 澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岩 淵 博 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
有 澤 一 昌	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
長谷川 廣 美	当別町民生児童委員協議会
三 池 正 樹	とうべつ学園PTA
【 太美（西当別）地区 】	
小 林 宏 太	西当別小学校
小 関 展 彰	西当別中学校
山 田 論	当別町民生児童委員協議会
藤 田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鈴 木 章 造	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
宮 本 勝 則	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川 嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
中 村 映 之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岸 本 進 嗣	西当別小学校PTA
石 原 信登志	西当別中学校PTA

〔任期〕 令和5年5月26日～令和7年5月25日

(12) 当別町子ども・子育て会議

氏 名	区 分		所 属
金 澤 潤一郎	第1号委員	学識経験	北海道医療大学
八木橋 桂 二	第1号委員	学識経験	当別町立学校校長会
難 波 雅 美	第2号委員	関係団体	当別町民生児童委員協議会
五十嵐 京 湖	第2号委員	関係団体	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	第2号委員	関係団体	認定こども園当別夢の国幼稚園
湯 川 正 雄	第2号委員	関係団体	社会福祉法人 ゆうゆう
中 田 綾 子	第3号委員	保護者	当別町PTA連合会
高 田 裕 輔	第3号委員	保護者	認定こども園当別夢の国幼稚園PTA
袴 田 智 志	第3号委員	保護者	認定こども園おとぎのくにPTA
辻 野 浩	第4号委員	公募	
津 崎 弘 樹	第4号委員	公募	

[任期] 令和3年10月1日～令和5年9月30日

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏 名	区 分	所 属
遊 佐 博 憲	行 政	当別町福祉部保健福祉課
小 畑 孝 尚	行 政	当別町福祉部介護課
高 田 訓 之	行 政	当別町教育委員会学校教育課
石 川 公 隆	行 政	当別町教育委員会社会教育課
畠 中 さおり	行 政	北海道中央児童相談所
中 畑 佐和子	行 政	北海道石狩振興局保健環境部
吉 村 公 孝	学 校	当別町立学校校長会
中 田 綾 子	学 校	当別町PTA連合会
五十嵐 京 湖	認定こども園	認定こども園おとぎのくに
砂 田 敦 子	認定こども園	認定こども園当別夢の国幼稚園
須 藤 政 信	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀 内 教 子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
白 井 応 隆	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
渡 部 泰 夫	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
鶴 野 陽 三	警 察	札幌方面北警察署当別交番
前 田 史 郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 令和5年4月1日～令和7年3月31日

➤ 4 教育関係各種団体

(1) 当別町文化協会 加盟団体

令和5年5月1日現在

区 分	団 体 名
民謡	當香会 民謡の部
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場
舞踊	西川流舞踊教室 当別鯉延会
	正派菊乃流菊ゆう会
	ひょっとこ踊り 玉福
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ
	子供の為のジャズダンスサークルS K I P
	ダンスグループDDD
	アロハフラーズ
	花舞
	ハーラウ・フラ・オ・ナーレイヒバ・ポーラニ
音楽	当別町カラオケ連合会
	太美カラオケ愛好会
	東裏カラオケ愛好会
	當香会 カラオケの部
	当別クローバーの会
	レディース・ハーモニー
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ
	チェリーベル
	O J B
	エーデルワイス
郷土芸能	当別音頭を守る会
	とべのすけすずめ踊り隊
茶華道	当別華道連盟
	当別裏千家茶道同好会
	西当別茶道教室
書道絵画	西当書道会
	太美書道教室
生活文化	当別写真同好会
	スエタ手芸教室
	クレイ.クラフト.フラワー
	ぽかゆるたいむ
	太美ヨガサークル
	日本棋院当別支部
	パッチワークオンリーワン
文芸	当別短歌会
合計 36 団体	

(2) 当別町スポーツ協会 加盟団体

令和5年5月1日現在

協会・連盟名	
陸上競技協会	スキー連盟
軟式野球連盟	サッカー連盟
バレーボール協会	相撲国技会
弓道連盟	ソフトボール協会
卓球協会	テニス協会
バスケットボール協会	バウンドテニス協会
剣道連盟	ミニバレー協会
柔道連盟	パークゴルフ協会
合計 16 団体	

(3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和5年5月1日現在

地区名
北栄町
アウル
西町
元町
緑町
春日町
太美北
当別太ビトエ川下
スウェーデンヒルズ
スターライト
白樺町
合計 11 地区

(4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和5年5月1日現在

所 属
生活改善実践グループ
当別音頭を守る会
合計 2 団体

➤ 5 指定文化財一覧

令和5年5月1日現在

指 定 番 号	品 名	種 別	指 定・登 録 年 月 日	所 在 場 所	摘 要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗(寛永17(1640)年生～正徳元(1711)年没)が、66才の時(宝永2(1705)年)画いたもので伊達正人が明治25(1892)年三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたもの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鷺鷥 【縦214cm 横60.5cm】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年)冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定)冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緞公へ御入嫁の際お持ちしたもの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家5代村緞公(宝永4(1707)年生～寛永元(1748)年没)が着用したもの。 (長ばかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着)及び帯	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家9代義監公(文化6(1809)年生～)が着用したもの。
7	陣羽織	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家10代邦直公(天保5(1834)年生～明治24(1891)年没)が着用したもの。
8	火事装束	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
9	子供用綿入れ(2組)	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	伊達家11代基理公(文久2(1862)年生～)が着用したもの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S50.7.5	元町 当別伊達記念館	同 上
11	当別開拓の図	有形文化財	S50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦68cm 横110.5cm】
12	伊達邸別館	有形文化財	S51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45(1970)年、当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。
14	トウバツアカマツセイウチ化石	有形文化財	R4.2.16	札幌市 北海道大学総合博物館	絶滅した初期のセイウチ科の化石で、時代は中新世後期で約1,000～950万年前。昭和52(1977)年に当別川流域で発見された。この時代のセイウチ科の化石は記録が少なく、セイウチ科の進化の空白を埋める貴重な標本である。

➤ 6 教育の沿革

年 号	で き ご と
明治5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
36年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
37年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
38年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
39年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
40年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
41年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
42年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
43年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
44年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
45年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
46年	・二級町村から一級町村へ昇格
47年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
48年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
49年	・二股小学校が二股教育所として創立
50年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
51年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
52年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
53年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
54年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
55年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
56年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
57年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
58年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
59年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
60年	・札沼線当別一札幌間開通
61年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
62年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
63年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
64年	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
65年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
66年	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
67年	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
68年	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
69年	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
70年	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年 号	で き ご と
昭和22年	・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	・ 第1回当別町成人式挙行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	・ 当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	・ 町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙げ、弓道の道場として活用）
41年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・ 当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴静江奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足20周年記念式典挙行
43年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	・ 当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・ 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	・ 開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・ 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・ 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等） ・ 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・ 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・ 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	・ 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・ 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	・ 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	・ 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・ 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	・ 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・ 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・ 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51年	・ 当別町社会教育指導員設置

年 号	で き ご と
昭和52年	・当別町中学校発足30周年記念式典挙行 ・当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付） ・当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡） ・当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） ・青山中央小中学校新校舎完成
53年	・当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室） ・中小屋中学校新校舎完成
54年	・当別町体育協会創立20周年記念式典挙行 ・当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m） ・当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡） ・当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）
56年	・当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m） ・当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）
57年	・当別ロータリークラブ奨学金制度発足 ・当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m） ・当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡） ・当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示） ・伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）
59年	・当別町教育奨励賞制定 ・当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）
60年	・当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）
62年	・当別町スポーツ賞制定
63年	・当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）
平成元年	・金沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム） ・当別町体育協会創立30周年記念式典挙行
2年	・当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）
3年	・当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置） ・当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園
4年	・当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面） ・当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他） ・学校週5日制スタート
5年	・当別町学校体育施設開放事業開始
6年	・当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場） ・当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）
7年	・当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始） ・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8年	・中小屋小学校が火災により焼失
9年	・西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室） ・当別町中学校開校50周年記念式開催
10年	・中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）
11年	・当別町生涯学習推進計画策定 ・当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）
12年	・青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始） ・当別町青山中央プール廃止
13年	・当別町適応指導教室設置 ・学校評議員制度開始 ・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14年	・当別町子ども議会開催 ・当別町歴史ボランティア設置

年 号	で き ご と
平成15年	・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度） ・伴静江奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第2プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16年	・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17年	・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18年	・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始
19年	・当別町弁華別プール廃止 ・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設 ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20年	・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始 ・当別町学校支援地域本部事業開始
21年	・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行 ・第3次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22年	・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定 ・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事 ・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
23年	・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24年	・当別小学校体育館落成(工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下) ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で2学期制を導入 ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転

年 号	で き ご と
平成24年	・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕 ・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧
25年	・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 ・西当別中学校教員住宅解体 ・当別小学校北校舎トイレ改修工事 ・当別中学校トイレ改修工事 ・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 ・西当別中学校給水設備改修工事
26年	・第4次当別町生涯学習推進計画策定 ・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設 ・土曜学習会の開始 ・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転 ・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修
27年	・当別町いじめ防止基本方針策定 ・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 ・当別町子ども発達支援センター完成 ・当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定 ・家読の日を制定（毎月23日） ・町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施 ・放課後学習会の開始 ・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）
28年	・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合 ・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入 ・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管 ・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設 ・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置 ・各中学校へデジタル教科書導入（国、数、理、社、英） ・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）
29年	・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸） ・㈱鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修 ・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校） ・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置 ・当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足 ・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞 ・西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根） ・各小学校の3～6年生へデジタル教科書導入（国語、算数）
30年	・教育委員会管理課を学校教育課に改称 ・西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計費4,644千円） ・当別町一体型義務教育学校基本設計（37,962千円） ・小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応） ・ICT機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了
令和元年	・当別町一体型義務教育学校地質調査業務委託（15,660千円） ・当別町一体型義務教育学校測量業務委託（5,886千円） ・西当別小学校屋内体育館改修工事（33,761千円） ・町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園 ・教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称 ・当別町義務教育学校開校準備委員会及び教育課程編成委員会設置 ・当別町一体型義務教育学校実施設計（128,700千円）
2年	・当別町図書館及び西当別分館設置 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（建設・電気・機械）（4,684,900千円） ・当別町一体型義務教育学校建設工事監理業務委託（77,000千円） ・当別町一体型義務教育学校建設損失補償調査業務委託（5,236千円） ・西当別中学校校舎屋上防水工事（12,650千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末購入（65,098千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（50,930千円） ・当別町教育系ネットワークシステム端末付属品購入（6,826千円） ・校務系ネットワークシステム構築業務委託（69,300千円） ・家庭用モバイルルーター購入（2,176千円） ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託（その2）（354,000千円） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため全国で一斉臨時休業（3～5月）

年 号	で き ご と
令和3年	・学習用情報機器貸出、家庭学習用通信機器貸出開始 ・学校給食費の公会計化 ・北海道C L A S Sプロジェクト（地学協働活動推進実証事業）実施（～令和5年度） ・保育支援者配置補助事業の実施 ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）実施 ・当別町一体型義務教育学校建設工事（外構工事）（136,950千円）
4年	・とうべつ学園備品購入（校用 45,353千円、教材 19,923千円）、既存備品移送運搬・備付（4,070千円） ・「トウベツアカマツセイウチ化石」の当別町有形文化財指定 ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」完成（2月） ・当別町一体型義務教育学校「とうべつ学園」引き渡し（3月） ・当別小学校、当別中学校統合による閉校（3月） ・義務教育学校「とうべつ学園」開校（4月） ・子どもプレイハウス民間委託開始 ・「学びのハンドブック」を保護者に配布（4月） ・鈴木直道北海道知事がとうべつ学園を訪問（4月） ・とうべつ学園見学会開催（6月） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（グラウンド整備）（190,872千円） ・当別中学校解体工事（511,500千円） ・当別町総合体育館屋上防水改修工事（126,500千円） ・とうべつ学園開校記念式典（11月）
5年	・成人年齢引き下げに伴い、成人式を「はたちのつどい」と改称して開催

➤ 7 統計データ

(1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	武道場 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
西当別小学校	R C	4,381	702		15,789	昭和57年	昭和53年
西当別中学校	R C	3,869	678		28,749	昭和55年	昭和54年
とうべつ学園	R C	9,361	2,293	428	43,310	令和4年	令和4年

※R C：鉄筋コンクリート造

(2) 児童生徒数の推移

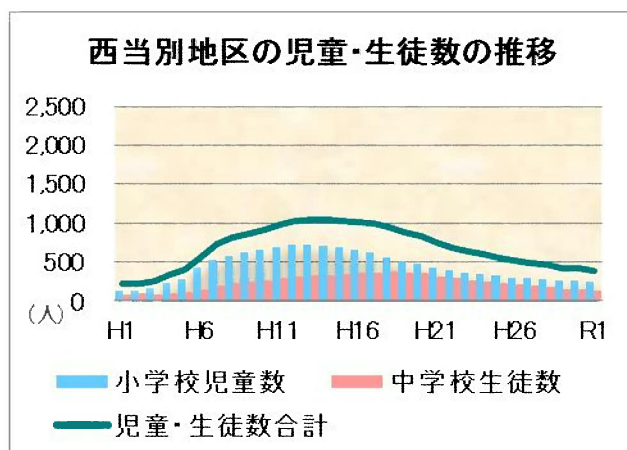
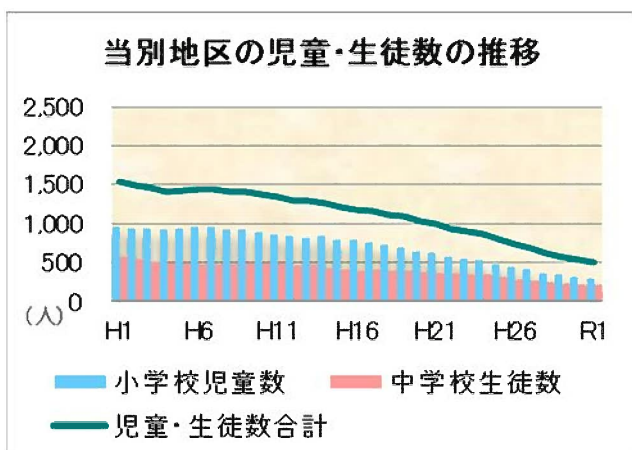
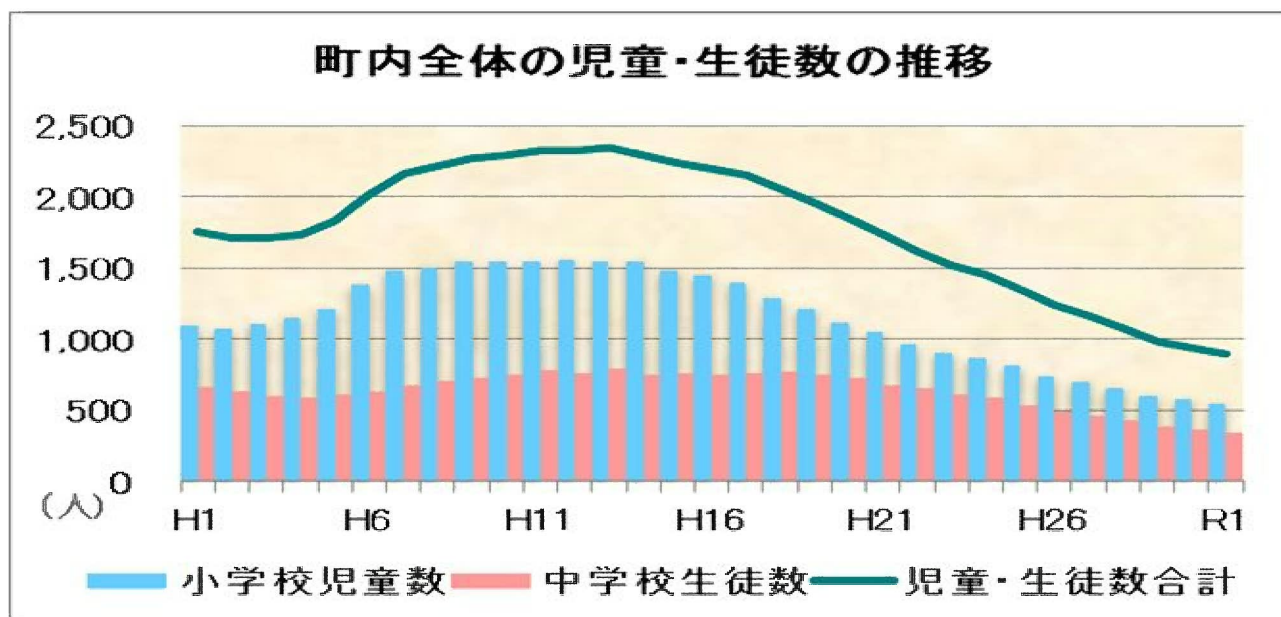
◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
R 1	73	80	81	108	115	95	552
2	68	73	83	81	106	115	526
3	78	67	73	87	82	105	492
4	82	77	70	77	87	81	474
5	77	85	81	73	81	90	487

◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
R 1	115	108	119	342
2	96	114	110	320
3	112	93	115	320
4	106	113	93	312
5	79	107	113	299

各年5月1日現在（単位：人）



(3) 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 小 学 校	西当別小	S26	
	太 美 小	M29	S26
	獅子内小	M33	S26
	当別高岡小	M34	H3

◆ 中学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
西 当 別 中 学 校	西当別中	S22	
	当別高岡中	S25	S43

◆ 義務教育学校

学校名	設置年	統 合 年 一 覧	
当 別 小	M 6		
東 裏 小	M35		H20
蕨 岱 小	M44		H19
中小屋小	M33		H18
川 下 小	M37		H16
金 沢 小	M32		H1
材木沢小 (分校)	T 4	S40	
弁華別小	M25		H28
青 山 小	M34	S50	
青山中央小	M34		H12
二 股 小	M41	S50	
四番川小	M42	S48	
三番川小	M42	S46	
当 別 中	S22		
中小屋中	S22		H17
弁華別中	S22		H28
青山中央中	S22		H12
二 股 中	S28	S48	
三番川中	S28	S46	
四番川中	S22	S42	

R4
とうべつ学園

(4) 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
新小学校 1年生	対象人数	10	9	11
	援助総額	510	486	595
小学校	対象人数	93	79	55
	援助総額	5,961	5,972	4,552
新中学校 1年生	対象人数	15	19	8
	援助総額	900	1,140	504
中学校	対象人数	65	50	42
	援助総額	6,167	5,560	5,525
計	援助総額	13,539	13,159	11,176

* 平成29年度から翌年度の新小学校・新中学校1年生に新入学準備金を支給。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	対象人数	5	9	10
	支給総額	137	350	391
中学校	対象人数	5	1	2
	支給総額	258	42	156
計	対象人数	10	10	12
	支給総額	395	393	547

(6) 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

(単位：人・千円)

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	対象人数	44	50	56
	支給総額	234	282	310
中学校	対象人数	7	6	8
	支給総額	42	36	48
計	対象人数	51	56	64
	支給総額	276	318	358

(7) 社会教育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室 1	和室 2・3	談話室	計	
R 2	件数	148	15	547	106	112	24	1	953
	人数	1,077	101	4,475	1,195	604	117	3	7,572
R 3	件数	132	17	454	158	84	7	0	852
	人数	1,134	132	5,241	1,460	451	34	0	8,452
R 4	件数	169	8	546	183	147	43	0	1,096
	人数	1,533	109	5,486	2,276	755	408	0	10,567

西当別コミュニティセンター

年度\区分		アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他（見学）	計
R 2	件数	757	266	128	110	19	170	2	1,452
	人数	12,063	4,393	1,229	1,142	195	745	5	19,772
R 3	件数	399	215	103	78	1	122	0	918
	人数	6,229	4,032	884	1,140	5	712	0	13,002
R 4	件数	1,035	340	193	156	14	229	0	1,967
	人数	14,442	6,521	1,887	2,144	215	1,252	0	26,461

当別町図書館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 2	8,052	8,078	16,130	2,876	543	3,419	12,718	9,958	22,676
R 3	7,641	7,521	15,162	2,742	478	3,220	13,110	10,299	23,409
R 4	11,231	10,463	21,694	3,798	636	4,434	11,847	8,604	20,451

当別町図書館西当別分館

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
R 2	7,242	7,734	14,976	2,678	544	3,222	10,516	9,455	19,971
R 3	6,611	5,294	11,905	2,192	381	2,573	10,834	9,740	20,574
R 4	9,522	9,729	19,251	3,674	491	4,165	9,591	8,356	17,947

世紀会館

年度\区分		洋室	集会室A	集会室B	和室	計
R 2	件数	24	74	68	0	166
	人数	118	525	472	0	1,115
R 3	件数	17	61	61	0	139
	人数	85	340	339	0	764
R 4	件数	32	103	56	1	192
	人数	162	720	345	5	1,232

当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
R 2	792
R 3	450
R 4	1,263

当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
R 2	件数	1,052	355	126		1,533
	人数	21,397	2,436	838	5,177	2,539
R 3	件数	416	223	101		740
	人数	17,590	1,604	797	3,776	1,285
R 4	件数	929	212	197		1,338
	人数	30,093	3,441	1,670	6,159	2,317

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

(8) 子ども発達支援センター利用状況

年度\区分		児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援
R 2	人数	22	11	8	46	0
	件数	893	340	31	-	-
R 3	人数	23	15	6	49	0
	件数	732	425	10	-	-
R 4	人数	23	21	8	25	0
	件数	935	490	38	-	-

(9) 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

① 施設型給付費

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育	対象児童数	131	131	123
	給付額	121,278	113,208	101,078
保育	対象児童数	179	178	173
	給付額	189,586	202,278	206,916
計	対象児童数	310	309	296
	給付額	310,864	315,486	307,994

② 特別保育事業補助金等

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

年度 区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
延長保育 事業	実施施設数	2	2	2	
	対象児童数	46	38	39	
	補助金交付額	1,493	1,100	1,100	
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	2	6	
		補助金交付額	4,066	3,962	6,033
	保育	対象児童数	3	4	1
		補助金交付額	6,055	4,022	2,062
	計	対象児童数	7	6	7
		補助金交付額	10,121	7,984	8,095
一時預かり 事業 (一般型)	実施施設数	1	1	1	
	対象児童数	8	7	8	
	補助金交付額	3,056	2,976	2,976	
一時預かり 事業 (幼稚園型)	実施施設数	2	2	2	
	対象児童数	68	79	86	
	補助金交付額	7,038	10,380	9,346	

令和5年度
当別町の教育

令和5年6月発行
編集・発行：当別町教育委員会



未来を拓く9年間



当別町小中一貫教育